

2024年度 部局 FD 活動報告

現代システム科学域・現代システム科学研究科

<p>1. 各部局のFDの検討・実施体制を書いてください。（必ずご記入ください）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代システム科学域FD会議（実施責任者：学域長），現代システム科学研究科教学アセスメント実施委員会（実施責任者：研究科長）を設置し，アセスメントリストにおける年次点検評価を行っている。 ・現代システム科学域・研究科の教務委員会においてFDに関する議題を取り上げ、教務委員会全体として、学域・研究科のFD活動を推進している。 ・各学類会議にて，FD関連事項を全教員に共有している。 		
<p>2. 教育改善・教育評価・FDに関する講演会、セミナー、ワークショップ等の開催</p>		
開催日	内容（タイトル）	参加者数
2024年6月20日	<p>第1回現代システム科学研究科交流研究発表会 黒田桂菜（環境共生科学分野） 「海とひとが共生する社会とは？多様なアプローチを通して身の回りの魚や海藻をみつめる」 吉川丈（環境共生科学分野） 「Penalties for Social Concern in a Bilateral Monopoly」</p>	58名
2024年7月18日	<p>第2回現代システム科学研究科交流研究発表会 住友陽文（人間科学分野） 「変革期としての「大正」——“密造”される共和主義——」 田村徳子（人間科学分野） 「ブラジルの校長直接選挙——教職員、保護者、児童生徒で校長を選ぶことの意味——」</p>	53名
2024年11月21日	<p>第3回現代システム科学研究科交流研究発表会 山野 則子（社会福祉学分野） 「基礎研究から実装研究への道：学際性とその困難～子ども家庭福祉領域における研究」</p>	27名
2024年12月25日	<p>第4回現代システム科学研究科交流研究発表会 花村周寛（環境共生科学分野） 「まなざしのデザインから総合知を考える」</p>	21名
2025年1月23日	<p>第5回現代システム科学研究科交流研究発表会 上柿崇英（人間科学分野） 「環境哲学から見る人間存在と人間の未来について」</p>	31名
<p>3. 教育改善・教育評価・FDに関する会議、委員会等の開催</p>		
会議・委員会名	内容・開催日 （複数回の場合は「第1回（*月*日）～について」 「第2回…」と記載）	委員の人数
研究科教学アセスメ	第1回10月3日 教学アセスメントにおける年次点検評	8名

ント実施委員会	価報告について説明を行った。 第2回 11月7日 教学アセスメントにおける年次点検評価報告について分析結果の報告を行った。	
学域教務委員会	毎月1回の定例の委員会の中で、学域独自のFDCやPBLについての現状や課題を共有し、その都度必要事項について協議した。	9名
4. 上記以外の教育改善・FDに関する取組		
<p>・後期開講の学域共通科目「知識情報システム学概論」「環境社会システム学概論」「教育福祉学概論」「心理学概論」の4科目では、授業の最終回（第15回）において、各科目の担当者が対談形式で講義を行うことで、各学類や各教員の専門性のみにとらわれず、科目間のつながりやカリキュラム全体について意識するように促した。</p> <p>・大学院博士前期課程「現代システム科学特別演習1」「現代システム科学特別演習2」において、他の教員が指導する大学院生のポスター発表を聞き、異なる専門分野の視点からコメントを行うことにより、自らの研究指導や講義を改善するための機会を提供した。</p> <p>・本研究科に在籍中の大学院生に対して「大学院授業内容に関するアンケート」を実施し、その回答を第10回研究科教務委員会（2/27開催）において検討した上で当該分野・当該科目担当教員らへのフィードバックを行なうなど、大学院授業改善のための参考とした。（アンケート実施期間：2025年1月6日～2025年2月21日。）</p>		
5. 年に1回以上、FD活動に参加した専任教員の人数 [実数]（必ずご記入ください）		
<p>・年に1回以上、FD活動に参加した専任教員の人数（学域：92名、研究科：85名）人</p> <p>・所属内の専任教員の人数（学域：92名、研究科：85名）人</p>		
6. その他、追記事項		

1. 各部局のFDの検討・実施体制を書いてください。(必ずご記入ください) 文学部内にFD委員会(教員3名、うち1名が委員長)を設置。(5月に1名の交代あり)。 2024年度FD研修会を、前期・後期、計2回開催した。		
2. 教育改善・教育評価・FDに関する講演会、セミナー、ワークショップ等の開催		
開催日	内容(タイトル)	参加者数
2024年7月26日	第一回文学部FD研修会テーマ《女性研究者支援(男性を含む)の制度・実践・課題—文学研究科の場合—》 ①「大阪公立大学の女性研究者支援事業」 (森澤和子先生/学長補佐・工学研究科教授・女性研究者支援室長) ②「研究支援員制度を利用して」 (齊藤紘子先生/文学研究科) ③「コメント」(平山亮先生/文学研究科) ④フロアを含めたディスカッション	55
2024年12月20日	第二回文学部FD研修会 テーマ《「合理的配慮」と授業運営》 ①「学生の多様なニーズと合理的配慮」 (三田優子先生/現代システム科学研究科准教授・アクセシビリティセンター長) ②「『合理的配慮』依頼と授業運営の実際」 (高井絹子先生/文学研究科) ③フロアを含めたディスカッション	56
3. 教育改善・教育評価・FDに関する会議、委員会等の開催		
会議・委員会名	内容・開催日 (複数回の場合は「第1回(月*日)〜について」「第2回…」と記載)	委員の 人数
FD委員会	第1回(4月24日)「今年度の取り組みについて/大学教育授業実習制度について」	3
FD委員会	第2回(5月9日)「第一回文学部FD研修会の方針と開催までの準備について」	3
FD委員会	第3回(11月15日)「次年度の大学教育授業実習制度について/第二回文学部FD研修会の方針と開催までの準備について」	3
FD委員会	第4回(2月7日)「大学教育授業実習制度の修了者について/本年度のFD委員会総括」	3
4. 上記以外の教育改善・FDに関する取組		
2024年度大学教育授業実習制度に3名の受講者があり、各自3回ずつ授業実習と、事前・事後の学習指導をおこない、修了した。		
5. 年に1回以上、FD活動に参加した専任教員の人数[実数](必ずご記入ください)		
・年に1回以上、FD活動に参加した専任教員の人数 (56)人		
・所属内の専任教員の人数 (61)人		
6. その他、追記事項		
なし		

2024 年度 部局 FD 活動報告

法学部・法学研究科（法学政治学専攻）および同研究科法曹養成専攻

1. 各部局の FD の検討・実施体制を書いてください。（必ずご記入ください）

【法学部・法学研究科】教育改革委員が法学部・法学研究科（法曹養成専攻を除く）の FD を担当し、教育の内部質保証委員会、教務委員会、研究教育体制検討委員会で Microsoft Teams を活用しながら必要に応じて FD を取り上げ検討している。年に数回、学部および研究科の全員が参加する教授会と同日に FD 集会を開催し、全体での情報共有と議論を行っている。また、部局の全教員・職員をメンバーとする Microsoft Teams に FD 専用チャンネルを設置しており、常時 FD に関する通知および議論を行っている。学生との関係では、法学会による新入生歓迎会や裁判所傍聴、大阪税関見学、学術講演企画、法学カフェなどの交流行事を開催している。

【法曹養成専攻（ロースクール）】法曹養成専攻 FD 委員（専任教員 2 名・実務家教員 1 名）を中心に、前・後期各 1 回の定例 FD 集会（兼任教員・非常勤講師も参加可能）を専攻会議開催日に行い、各学期の授業アンケート結果及び定期試験成績を踏まえた議論に加え、授業改善方法についての報告・議論を行う。クラス担任面談は毎年 5 月頃に全員に対して行い、必要な情報を共有する。学外委員との教育課程連携協議会を年 2 回開催する。アカデミックアドバイザー（本専攻出身若手弁護士に就任を依頼）との意見交換会を年 2 回行う。

2. 教育改善・教育評価・FD に関する講演会、セミナー、ワークショップ等の開催

開催日	内容（タイトル）	参加者数
【法学部・法学政治学研究科】		
なし	なし	
【法曹養成専攻】		
なし	なし	

3. 教育改善・教育評価・FD に関する会議、委員会等の開催

会議・委員会名	内容・開催日 (複数回の場合は「第 1 回（*月*日）～について」 「第 2 回…」と記載)	委員の人数
【法学部・法学政治学研究科】		
FD 関係ディスカッション (Microsoft Teams チャンネル)	常時開設（授業方法の情報交換その他 FD 事項の自由な議論）	34
FD 集会	第 1 回 (11 月 27 日) 2023 年度後期および 2024 年度前期の GPC データおよび授業アンケート結果等、各種データの共有 第 2 回 (12 月 18 日) 学部および大学院法学政治学専攻の	34

	2023 年度入学者の成績データについての共有、ならびに学生受け入れにかかる点検	
教育の内部質保証委員会	常時開設 (FD はじめ教育の内部質保証に関する案件が生じた場合の自由な議論)	7
【法曹養成専攻】		
FD 集会	第 1 回 (5 月 8 日) ①2023 年度後期成績分布および 2023 年度後期授業アンケートへのコメントの確認とそれを踏まえた意見交換、②次回の FD 集会のテーマについて	24 名
	第 2 回 (10 月 9 日) ①2024 年度前期成績分布および 2024 年度前期授業アンケートへのコメントの確認とそれを踏まえた意見交換、②論述能力の涵養のための予習課題と復習課題についてのアンケート調査の結果報告とそれを踏まえた意見交換	24 名
教育課程連携協議会	第 1 回 (9 月 26 日) ①在学中受験の現状と課題に関する意見交換、②法曹コースの現状と課題に関する意見交換、③司法試験 CBT 化への対応状況に関する意見交換	5 名 (うち学外委員 2 名)
	第 2 回 (3 月 5 日開催予定) テーマ未定	
拡大自己評価委員会	第 1 回 (6 月 19 日) ①令和 5 年度認証評価における改善事項について、②共通到達度確認試験のデータ分析 (とくに憲法について)、③司法試験合格率の数値目標について、④令和 6 年度実施の自己点検について	7 名
	第 2 回 (9 月 18 日) ①令和 5 年度認証評価における改善事項について、②標準年限修了率及び留年率の確認、③AP の改訂、④AP に沿った学生受入の確認、⑤令和 6 年度実施の自己点検について	6 名
AA (アカデミック・アドバイザー) との意見交換会	第 1 回 (8 月 1 日) ①前期の実施状況をふまえた意見交換、②今後の体制についての検討 第 2 回 (3 月上旬開催予定) ①後期の実施状況をふまえた意見交換、②今後のアドバイザー担当者の調整	実定法科目担当者を中心とする法曹養成専攻教員及び AA
4. 上記以外の教育改善・FD に関する取組		
【法学部・法学政治学研究科】		
<ul style="list-style-type: none"> 大阪公立大学法学会と連携して新入生歓迎会 (4 月)、法学カフェ (6 月および 11 月)、大阪地方裁判所見学 (6 月、11 月)、学術講演企画 (11 月)、大阪税関見学 (12 月)、学生論文コンクール (2-3 月) の行事を継続、学部生・大学院生との交流懇談の機会を確保。 相互授業見学 (学部) を実施した (6 月、12 月)。 		

- ・ 演習担当教員・教務委員等を通して、留学生や成績不振学生を対象にした個別の学習相談を行う

【法曹養成専攻】

- ・ クラス担任面談の実施と情報共有（5月）
- ・ 前期教務関係アンケートの実施（カリキュラム全体に対する学生からの意見収集、7月実施）
- ・ 相談希望学生を対象とする法律基本科目担当教員による後期学習相談会の実施（9月20日開催）
- ・ 後期教務関係アンケートの実施（カリキュラム全体に対する学生からの意見収集、1月実施）

5. 年に1回以上、FD活動に参加した専任教員の人数〔実数〕（必ずご記入ください）

【法学部・法学研究科】

- ・ 年に1回以上、FD活動に参加した専任教員の人数 （ 34 ）人
- ・ 所属内の専任教員の人数 （ 34 ）人

【法曹養成専攻】

- ・ 年に1回以上、FD活動に参加した専任教員の人数 （ 11 ）人 ※法科大学院専任教員の人数
- ・ 所属内の専任教員の人数 （ 11 ）人 ※法科大学院専任教員の人数

6. その他、追記事項

【法学部・法学研究科】

- ・ 「部局のFD活動取り組みについて」の策定および提出（4月）
- ・ 「教学アセスメントリストにおける年次点検評価報告」の策定および提出（8月～12月）

【法曹養成専攻】

- ・ 昨年（令和5年）度に独立行政法人大学改革支援・学位授与機構による法科大学院認証評価を受審し、FD関連事項に関連するものとして、授業の方法の方針について、「組織的に統一された方針が策定されていない。そのため、統一された方針に基づき授業が実施されているとはいえない。」との指摘を受けた。これを踏まえ、本年（令和6年）度、授業の方法についての方針を策定した。
- ・ 本年（令和6年）度、学校教育法第109条第1項により大学に求められている自己点検・評価を実施した。本年度末にその結果を公表する予定である。
- ・ 来年（令和7年）度、大阪公立大学になってはじめて、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構による法科大学院認証評価を受審する予定である。

2024 年度 部局 FD 活動報告

経済学部・研究科

<p>1. 各部局の FD の検討・実施体制を書いてください。（必ずご記入ください）</p> <p>今年度の FD 活動の取組みについて、例年通り、全学委員としての教育改革委員が教育の内部質保証 WG（＝部局教育改革委員会、メンバーは拡大教務委員会）と相談し合っている。</p>		
<p>2. 教育改善・教育評価・FD に関する講演会、セミナー、ワークショップ等の開催</p>		
開催日	内容（タイトル）	参加者数
2024 年 5 月 15 日	学部・大学院における国際化と情報化について 1	40 人
2024 年 6 月 12 日	学部・大学院における国際化と情報化について 2	40 人
2025 年 3 月 6 日	経済学部における教育について（仮題）	
2025 年 3 月 20 日	2024 年度 経済学研究科・経済学部の GP 分布・GPC の分析結果の報告と意見交換、学生調査の結果の共有	
<p>3. 教育改善・教育評価・FD に関する会議、委員会等の開催</p>		
会議・委員会名	内容・開催日 （複数回の場合は「第 1 回（*月*日）～について」 「第 2 回…」と記載）	委員の人数
部局教育改革委員会	第 1 回（2025 年 3 月 19 日）	
<p>4. 上記以外の教育改善・FD に関する取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 学生の 3 回生以降の卒業論文のあり方について、原案について議論を行った。 ● 海外の大学への研修・訪問の実績 <ul style="list-style-type: none"> ・フィリピン（学生を引率しての海外研修） 		
<p>5. 年に 1 回以上、FD 活動に参加した専任教員の人数 [実数]（必ずご記入ください）</p> <p>・年に 1 回以上、FD 活動に参加した専任教員の人数 （ 40 ） 人</p> <p>・所属内の専任教員の人数 （ 47 ） 人</p>		
<p>6. その他、追記事項</p> <p>部局内の GP 分布・GPC データの分析を行い、以下の学部及び大学院の分析結果を、3 月の教授会で報告・共有し、意見交換を行う予定である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 基本統計量 ● クラスサイズ（履修生数）、GPC、合格率のそれぞれの分布 ● GPC、合格率とクラスサイズの関係 ● GP 分布 		

2024 年度 部局 FD 活動報告

商学部・経営学研究科

<p>1. 各部局の FD の検討・実施体制を書いてください。（必ずご記入ください）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育の内部質保証委員会（研究科長、副研究科長、研究審議会第 5 号構成員） ・同委員会で年度毎に FD 研修について実施内容検討 		
<p>2. 教育改善・教育評価・FD に関する講演会、セミナー、ワークショップ等の開催</p>		
開催日	内容（タイトル）	参加者数
2024 年 10 月 9 日	商学部の中山雄司教授から、「”ていら・みず”の実用例」をテーマにご講義いただいた。学生にどのような目的で使うよう促すのか、促す方法と機会について議論が生じた。部局の教育における位置づけと合わせて、今後も教育の質内部保証委員会を中心として継続的に検討することを確認した。	35 名
<p>3. 教育改善・教育評価・FD に関する会議、委員会等の開催</p>		
会議・委員会名	内容・開催日 （複数回の場合は「第 1 回（*月*日）～について」 「第 2 回…」と記載）	委員の人数
教育の内部質保証委員会	第 1 回（5 月 15 日）2023 年度後期成績分布状況の確認について	4 名
	第 2 回（7 月 16 日）2023 年度後期科目におけるアンケート結果について	4 名
	第 3 回（10 月 19 日）成績不良者、教学アセスメント年次点検評価について	4 名
	第 4 回（11 月 13 日）成績の偏り、アドミッションポリシーアセスメント、授業振り返りについて	4 名
	第 5 回（12 月 11 日）成績の偏りの調査について	4 名
	第 6 回（12 月 18 日）成績の偏りの調査、大学院初年次生の成績不良者に関する指導教員からの聞き取り調査結果確認（アドミッションポリシー評価の一環）、学部の授業振り返りについて初年次生のみデータ確認（アドミッションポリシー評価の一環）について	4 名
<p>4. 上記以外の教育改善・FD に関する取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成績不振の学生に対する学習相談 <p>一定の基準にもとづいて成績不良者（留年・仮進級生）をリストアップし、専門ゼミナールに所属している学生についてはゼミ教員が、専門ゼミナールに所属していない学生については、教務委員等が直接面接・連絡し、学生の状況を把握するとともに、学力向上の方法について共に考える機会を作った。</p>		

・経営学会主催の大学院生向け研究会の実施

日時：2023年7月29日、15:00-16:30（学術情報総合センター9階・情報教育実習室9C）

参加者：約30人（大学院生・教員）

大学院生向け研究会は、経営学研究科の大学院生（主に新入生）向けに開催しており、若手教員である市村陽亮先生が報告された。研究上の課題や解決策など広く「研究の方法」について紹介し、大学院生や教員からの質問に答えて懇談した。大学院生にとっては、研究の方法を学ぶ良い機会になった。

・『CORE（学生論文集）』優秀論文の表彰

2024年12月26日

受賞者：専門ゼミナールの5チーム

『CORE・学生論文特別号2024』に掲載された論文から選考を行い、優秀論文5本を決定した。受賞者は商学部ホームページにて発表した。商学部の専門ゼミナールでの学生の勉強意欲を高めるための試みであった。

・令和6年度商経人権研修会

日時：2024年12月11日（水）13:00～13:45（オンライン開催）

テーマ：大阪公立大学人権宣言の公表について

司会：明戸隆浩（経済学研究科教員）

話題提供者：金澤真理（副学長）

参加者：両学部から66人

2024年4月、大阪公立大学人権宣言が公表された。この宣言は、大阪公立大学の前身である大阪市立大学が2001年に策定した人権宣言を引き継ぎ、また同じく大阪公立大学の前身である大阪府立大学の人権教育・研究の蓄積をふまえながら、人権問題委員会での議論およびパブリックコメントによる意見募集などを経て策定されたものである。人権問題委員会委員長として宣言の取りまとめに尽力された金澤真理副学長に、この宣言の策定経緯や社会的重要性などについてお話いただき、議論を深めた。

・優秀GPA学生の表彰

3月24日の学位授与式で表彰を行う。

5. 年に1回以上、FD活動に参加した専任教員の人数 [実数]（必ずご記入ください）

・年に1回以上、FD活動に参加した専任教員の人数（35）人

・所属内の専任教員の人数（40）人

6. その他、追記事項

特になし。

2024 年度 部局 FD 活動報告

都市経営研究科

<p>1. 各部局の FD の検討・実施体制を書いてください。（必ずご記入ください） 都市経営研究科長と副研究科長が中心となり FD 研修会の開催等について検討。</p>		
<p>2. 教育改善・教育評価・FD に関する講演会、セミナー、ワークショップ等の開催</p>		
開催日	内容（タイトル）	参加者数
2024 年 9 月 20 日	FD 研修会（「大学における生成 AI やデータの活用」（講師：名古屋学院大学経営学部教授 齋藤邦彦氏））	当日：9 名 後日（録画視聴）：5 名
<p>3. 教育改善・教育評価・FD に関する会議、委員会等の開催</p>		
会議・委員会名	内容・開催日 （複数回の場合は「第 1 回（*月*日）～について」 「第 2 回…」と記載）	委員の人数
<p>4. 上記以外の教育改善・FD に関する取組</p>		
<p>5. 年に 1 回以上、FD 活動に参加した専任教員の人数 [実数]（必ずご記入ください）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年に 1 回以上、FD 活動に参加した専任教員の人数 （ 11 ）人 * 研修会には特任教授も参加 ・所属内の専任教員の人数 （ 13 ）人 < FD 研修会開催時における所属内の専任教員の人数 （ 12 ）人 > 		
<p>6. その他、追記事項</p>		
<p> </p>		



2024 年度 部局 FD 活動報告

情報学研究科

<p>1. 各部局の FD の検討・実施体制を書いてください。（必ずご記入ください）</p> <p>情報学研究科は学際情報学，基幹情報学の 2 専攻からなり，各専攻で FD 検討委員会を設置。</p>		
<p>2. 教育改善・教育評価・FD に関する講演会、セミナー、ワークショップ等の開催</p>		
開催日	内容（タイトル）	参加者数
6/11	ドイツ留学説明会	不明
10/17	海外招聘教授 特別セミナー（科学論文の書き方や査読の仕方、アカデミックな世界での働き方）	不明
<p>3. 教育改善・教育評価・FD に関する会議、委員会等の開催</p>		
会議・委員会名	内容・開催日 （複数回の場合は「第 1 回（*月*日）～について」 「第 2 回…」と記載）	委員の人数
基幹情報学 FD 検討会議（全 12 回）	毎月最終週火曜日開催の専攻会議と同時に開催，カリキュラム等を検討	29 人
学際情報学専攻 FD 会議	学際情報学専攻の授業実施内容の検討・3 月 5 日	25 人
<p>4. 上記以外の教育改善・FD に関する取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成績分布の偏りやクラス間の差を確認するなどの方法で成績評価の点検を行った結果，大きな問題がないことを確認した．全教員に GPC データを共有，自身の成績評価について今後の参考とするとともに，評価基準についての意識改善を促した． ・研究科連絡会議において大阪公立大学 FD セミナーへの参加を呼び掛けた． ・Microsoft Azure Dev Tools for Teaching を利用し，所属学生が授業の自習・研究に利用可能なプログラミング開発環境の提供を行った． ・年度当初の各学年オリエンテーションにおいて，取得単位調査を行うことにより，卒業，進級要件の再確認を実施． ・4 月に学部学生の研究室訪問期間を設定し，最新の研究成果の紹介，大学院生との交流を通じて大学院での研究生活に関する情報提供等を実施． ・大学院生について，8/30 にポスター発表形式の中間報告会を実施．中間報告として研究内容をまとめることにより，各自の研究進捗を促すと同時に他研究室との交流を行った． 		
<p>5. 年に 1 回以上、FD 活動に参加した専任教員の人数 [実数]（必ずご記入ください）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年に 1 回以上、FD 活動に参加した専任教員の人数 （ 54 ） 人 		

・所属内の専任教員の人数

(54) 人

6. その他、追記事項

2024年度 部局 FD 活動報告

工学部・研究科（情報工学科除く）

<p>1. 各部局のFDの検討・実施体制を書いてください。（必ずご記入ください）</p> <p>工学研究科の全教員を対象としたFD集会は、公立大学工学教務委員会で企画している。その他教育改善に係わる情報も工学教務委員会で共有している。また、各学科・分野ごとにFD会議を開催することで、各科目や各教育課程に関する改善や情報共有を個別に行っている。</p>		
<p>2. 教育改善・教育評価・FDに関する講演会、セミナー、ワークショップ等の開催</p>		
開催日	内容（タイトル）	参加者数
2024.08.26	工学FDセミナー「高等学校における学習指導要領改訂に伴う数学科教育の今」	165人
<p>3. 教育改善・教育評価・FDに関する会議、委員会等の開催</p>		
会議・委員会名	内容・開催日 (複数回の場合は「第1回(*月*日)～について」 「第2回…」と記載)	委員の人数
第1回工学FD報告会	2024年度の工学研究科の各学科・専攻におけるFD取り組みの概要を発表し、情報を共有した(3月13日)	22人
航空宇宙工学FD会議	月1回の教室会議において、学生の履修状況や学習成果についての点検・評価と、教育の質の改善・向上に関する検討を実施(12回)。	12人
2024年度第1回海洋システム工学科/分野FD会議	2024年度海洋システム工学概論 工場見学の実施内容の検討、入学者成績分布状況、入学時アンケートの分析(4月23日)	11人
2024年度第2回海洋システム工学科/分野FD会議	2025年度後期森ノ宮キャンパス開設に伴う基幹教育科目に関する検討、総合型選抜の募集要項について協議(5月21日)	11人
2024年度第3回海洋システム工学科/分野FD会議	2023年度外部評価委員会議事録、アンケート及び回答の確認(6月25日)	11人
2024年度第4回海洋システム工学科/分野FD会議	2024年度海洋システム総合演習の内容及びスケジュールについて協議(7月23日)	11人
2024年度第5回海洋システム工学科/分野FD会議	学部入試定員について、海洋システム工学科学技術英語について、自習室のネーミングライツについて協議、総合型選抜入学生の現状についての情報共有(9月17日)	11人
2024年度第6回海洋システム工学科/分野FD会議	博士前期課程英語コース提供科目について、ユニバーサル人材認定プログラムの認定条件について協議(10月29日)	11人

2024年度第7回海洋システム工学科/分野FD会議	2025年度初年次ゼミナールおよび「エンジニアのためのキャリアデザイン」担当者選出、2024年度前期科目GPCの共有と協議(11月26日)	11人
2024年度第8回海洋システム工学科/分野FD会議	工学部インターンシップ担当者について、2025年度「海洋システム特殊講義の実施方法、内容および担当者について、協議(12月24日)	11人
2024年度第9回海洋システム工学科/分野FD会議	卒業研究ルーブリックの内容確認、外部評価委員会の開催および内容について、協議(1月28日)	11人
2024年度第10回海洋システム工学科/分野FD会議	2025年度一般選抜志願状況と今後の対応について、外部評価委員会の開催および内容について、協議(2月21日)	11人
2024年度海洋システム工学科/分野FD外部評価委員会	分野FD外部評価委員会を開催。以下の内容を報告し、外部評価委員より、評価・意見を頂く。 ・2024年度活動報告(入試・教育・研究) ・入学者分析、分野将来構想、研究発信状況 ・その他大学の状況(3月18日)	20人
2024年度第11回海洋システム工学科/分野FD会議	年度のFD活動の振り返り(3月25日)	11人
教育点検・生活指導委員会	学生の履修状況や授業の問題点等を教員間で情報共有し、対応が必要な学生の分野内アドバイザーへ対応を依頼した(5/23, 6/27, 7/25, 8/23, 9/26, 10/31, 11/28, 1/30).	30人/回
第1回機械工学科FD集会	学科専門科目の科目間のGPCの分布、ていらみずの学生指導への活用、2026年度以降のカリキュラム変更について意見交換および協議(11/14)	30人
第2回機械工学科FD集会	2026年度以降の基礎教育科目のカリキュラム、次年度4回生の研究室配属の方法について協議(12/12)	30人
第3回機械工学科FD集会	学科全体の研究活動を促進するための施策・講義内容について意見交換および協議(3/13)	30人
機械工学・科目間調整WG	・機械数学演習:演習の内容・運営の協議(7/30).今年度の授業の振り返りと改善点を協議(3/14)(6名) ・機械工作実習:今年度の実習内容や経費の確認(3/18),他学科の実習実施状況の情報共有,実習に関わる諸問題の協議(7/17).(12名) ・機械基礎実験:今年度の科目運営(4/15),発表会の開催方法(5/27),成績の評価(6/10),欠席学生の対応(7/1)などについて協議した他,授業実施期間を通じて学生の出欠状況を情報共有した(18名) ・機械応用実験:本年度の履修者,実施の内容,成績評価の方	36人

	<p>法について協議(9/20). 実験装置の動作や指導方法を現場で確認(9/26)(6名)</p> <p>・機械製図演習: 関連科目の「機械設計演習」・「機械製作実習」との連携について協議し, 教材・授業方法について意見を共有. (12/24)(3名)</p> <p>・機械製作実習: 今年度実施内容の振り返り, 成績評価方法の確認(1/7)(5名)</p>	
公大建築会議	第3回(8月9日) 学生から教員に聞いてみたいこと	11人+学生
公大建築会議	第4回(2月17日) 学生による研究室トーク	9人+学生
都市学科FD集会	<p>第1回(10月7日)</p> <p>「2024 入学時アンケート、2023 修了時アンケートの集計結果」、「総合型選抜入試入学生の動向調査」、「2024 年度都市学科オープンキャンパス参加者アンケート結果」について情報共有と意見交換を実施</p> <p>第2回(3月3日)</p> <p>「編入学入試学生の動向調査」、「輪番担当科目の実施状況」について意見交換を実施</p>	20人
電子物理系専攻教授会	<p>第1回(4月25日) 学生異動, 既修得単位認定, 大学院入試(飛び級制度), 研究指導計画書の作成について</p> <p>第2回(5月23日) 早期卒業, 大学院入試, FD活動の取組について</p> <p>第3回(6月27日) 学生異動, 編入学試験, 大学院入試科目について</p> <p>第4回(7月25日) 学生異動, 大学院入試実施について</p> <p>第5回(9月26日) 学生異動, 電子物理工学概論1単位取得状況確認, B2コース配属について</p> <p>第6回(10月31日) 学生異動, 大学院入試実施状況について</p> <p>第7回(11月28日) 教職課程, 推薦入試, 2026年度以降のカリキュラム変更について</p> <p>第8回(12月26日) 教職課程, 学校推薦型選抜, B3編入学生のコース振り分けについて</p> <p>第9回(1月30日) FD活動報告, 学生派遣について</p> <p>第10回(2月27日), 第11回(3月27日)</p>	16人
電子物理系専攻全体会議	上述した専攻教授会と同じ日程で開催し、同会議の内容を構成員間で共有した(計11回)。	46人
電子物理工学(電子物性コース)担当者会議	<p>上述した専攻教授会の内容に加え、</p> <p>第1回(4月25日) 卒論・修論発表, 集中講義</p> <p>第2回(5月23日) 研究指導計画書, 飛び級, 編入学試験,</p>	10人

	<p>高専への学科説明会</p> <p>第3回(6月27日) 大学院入試, B4 配属ルール整理</p> <p>第4回(7月25日) B2 コース配属</p> <p>第5回(9月26日) 卒論(B4) 中間発表会の日程確認</p> <p>第6回(10月31日) 修論の主査担当, 次年度集中講義, B4 中間発表会, B4 配属ルール, 研究室説明会(B3 対象)</p> <p>第7回(11月28日) 次年度集中講義, D3 公聴会, 研究室説明会, 講義の廃止・遠隔授業</p> <p>第8回(12月26日) 卒論・修論, 2025 年度研究室配属, 2025 年度講義担当</p> <p>第9回(1月30日) 卒論・修論発表, 進路相談, R7 年度研究室配属</p> <p>* 毎回: 進路状況(進学・就職)の確認, および成績不良者への対応に関する報告・意見集約</p>	
電子物理工学 (電子物性コース) 教室会議	上述した専攻教授会・講担会議と同じ日程で開催し、上記2会議の内容を構成員間で共有した(計11回)。	30人
電子物理工学実験 (電子物性コース) 会議	<p>第1回(4月4日) 新任教員への指導方針の確認および指導内容の引継ぎ</p> <p>第2回(8月20日) 新任教員を含む、担当教員の変更に伴う指導方針の確認と指導内容の引継ぎ</p> <p>第3回(2月27日) 担当教員の変更および指導内容の改善に関する会議</p>	3~4名 (第3回は9名)
電子物理工学 (電子材料コース) FD 会議	<p>第1回(4月25日) 第2回(5月23日)</p> <p>第3回(6月27日) 第4回(7月25日)</p> <p>第5回(9月26日) 第6回(10月31日)</p> <p>第7回(11月28日) 第8回(12月26日)</p> <p>第9回(1月30日) 第10回(2月27日)</p> <p>上記の専攻教授会の内容を構成員に共有</p>	16人
電子物理工学実験 (電子材料コース) FD 会議	<p>第1回(8月15日) 電子物理工学実験1(電子材料)評価基準について協議</p> <p>第2回(12月3日) 2025 年度の実験テーマについて検討</p> <p>第3回(2月12日) 電子物理工学実験2(電子材料)評価基準について協議</p>	9人
電気電子システム工学 科 分野教育改革会議	部局の教育委員会の情報共有し、分野の教育方針の審議などを行う(月例/8月休会、年11回開催)	7人
電気電子システム工学 科 実験委員会	分野が担当する実験に関して方針、学生の受講状況などを共有する。(定例/年3回開催)	14人
応用化学科 教育委員会	公大での新設科目(応用化学概論、応用化学総合演習)に関する実施内容検討	

	<p>第1回(1月28日) 応用化学概論および応用化学総合演習について今年度の振り返りと次年度の実施計画について</p> <p>第2回(3月24日) 応用化学概論および応用化学総合演習についての次年度の実施計画について</p>	<p>15人/回</p> <p>13人/回</p>
<p>応用化学科 教室会議</p>	<p>公大での新設科目及び学科全教員で担当する科目の今年度の実施状況及び次年度の準備状況の情報共有と検討</p> <p>第1回(7月22日) 前期の履修状況の情報共有と新設科目(応用化学概論)の実施・準備状況について</p> <p>第2回(12月23日) 後期の履修状況の情報共有と新設科目(応用化学総合演習)の実施・準備状況について</p>	<p>26人/回</p>
<p>化学工学科・教室会議 と職員会議</p>	<p>4月22日: 専門科目授業の進捗状況、在学生の履修指導、コンタクト教員制度による1年次生・2年次生の面談計画、4年次生の研究室配属後の状況、博士前期学生の就職状況、博士後期学生の進捗状況、履修登録に問題のある学生の抽出について</p> <p>5月27日: 教務委員会/教育運営委員会報告、専門科目授業の進捗状況、博士前期学生の就職状況、入学時アンケートへの対応、コンタクト教員からの面談報告について</p> <p>6月24日: 教務委員会/教育運営委員会報告、専門科目授業の進捗状況と中間試験の成績不審者、実験科目のレポート提出状況、博士前期学生の就職状況、化学工学序論・化学工学英語演習の実施状況、編入学試験の実施状況、コンタクト教員からの面談報告について</p> <p>7月29日: 教務委員会/教育運営委員会報告、専門科目授業の進捗状況と成績不審者および多回欠席者、実験科目のレポート提出状況、博士前期学生の就職状況、化学工学序論の研究室見学について</p> <p>8月21日: 大学院入試の状況、大学院A群科目の評価、前期授業の成績不審者や実験科目や必修科目の不合格者について</p> <p>9月30日: 教務委員会/教育運営委員会報告、専門科目授業の進捗状況、博士前期学生の就職状況、前期授業の成績不審者や実験科目や必修科目の不合格者への面談状況、コンタクト教員制度による1年次生の面談計画、在学生の単位習得状況について</p> <p>10月28日: 教務委員会/教育運営委員会報告、専門科目授業の進捗状況、博士前期学生の就職状況、前期授業の成績不審者や実験科目や必修科目の不合格者への面談状況、進級が危ぶまれる学生の面談結果、3年次編入生に対する学科教育と単位認定科目間のギャップを埋めるための対策、博士前期課程学生への大学院博士後期進学・就職についての説明会、</p>	<p>15人</p>

	<p>コンタクト教員からの面談報告、編入学試験 PR について</p> <p>11 月 25 日：教務委員会／教育運営委員会報告、専門科目授業の進捗状況、博士前期学生の就職状況、オープンラボ、3 年次編入生の単位認定とガイダンス、博士後期課程学生の博士論文の論文投稿状況、コンタクト教員からの面談報告、完成年度に向けたカリキュラムの見直しについて</p> <p>12 月 23 日：教務委員会／教育運営委員会報告、専門科目授業の進捗状況、博士前期学生の就職状況、オープンラボ実施報告、卒論・修論発表・大学院博士前期 1 年学生の間接発表、新入生・在校生オリエンテーション、博士後期課程学生の論文投稿状況、完成年度に向けたカリキュラムの見直し、物理学基礎実験 1B への対応について</p> <p>1 月 27 日：教務委員会／教育運営委員会報告、専門科目授業の進捗状況、必携 PC の部局独自スペック、博士後期課程学生の博士論文提出・査読状況、物理学基礎実験 1B への対応結果、博士後期課程学生の公聴会について</p> <p>2 月 13 日：卒業研究と大学院 A 群科目の評価、卒業研究発表賞と M1 ポスター発表優秀賞の選定について</p> <p>2 月 27 日：教務委員会／教育運営委員会報告、修士研究発表賞と化工研究業績賞の選定、化学工学序論・化学工学英語演習の実施方法、学生アドバイザーによる 1 年次生、2 年次生の個別ガイダンス、進級できない 3 年次生のケア、3 年次編入学生への履修指導について</p> <p>3 月 25 日：教務委員会／教育運営委員会報告、新入生・在校生オリエンテーション、化学工学序論・化学工学英語演習の実施方法、在学生の単位習得状況、次年度授業分担について</p>	
<p>マテリアル工学・ 2024 年度教室会議</p>	<p>第 1 回（4 月 24 日）大学院入学者報告、中国科学院との交流会、再編案、副指導教員制度などについて</p> <p>第 2 回（5 月 22 日）公立大高専説明会、FD 活動の取り組み、大学院他専攻科目の履修登録、研究室学生の配置換え、飛び級生などについて</p> <p>第 3 回（6 月 26 日）毒劇物管理、FD セミナー、オープンキャンパス、大学院履修登録について</p> <p>第 4 回（7 月 24 日）英語単位認定、大学院入試実施状況、博士後期課程の人数、大学院入試の入学試験科目変更、副指導教員制度の実施状況などについて</p> <p>第 5 回（9 月 25 日）後期休学者、分野 HP の運用、テクノラボツアー、マテリアル工学実験などについて</p> <p>第 6 回（10 月 30 日）学生のキャンパス内施設の滞在時間、</p>	<p>12 人／回</p>

	<p>入試方法，ていら・みすへの学生アドバイザー等による履修指導の入力状況，QS 世界大学ランキングの評判調査への協力依頼，配慮が必要な学生への対応などについて</p> <p>第 7 回（11 月 29 日）学生の不正行為，入試女子枠の設定などについて</p> <p>第 8 回（12 月 25 日）大学院入試博士後期課程の出願者について，教職課程，学生実験の担当者および内容，修論・卒論発表会などについて</p> <p>第 9 回（1 月 29 日）2026 年度以降のカリキュラム，講義担当，卒研配属，外国人留学生特別選抜の出願資格などについて</p>	
化学バイオ工学科 FD 集会	<p>化学バイオ工学科FD集会（1月28日）にて，以下の項目について確認および討議を行った。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 入試の状況に関して（大学選定の際に役立ったこと） 2. オープンキャンパスへの参加状況 3. 大学院進学予定者の博士課程への進学意欲について 4. 修了時アンケートの入学時アンケートとの比較 	20 人
化学バイオ工学分野会議	<ul style="list-style-type: none"> ・第 1 回分野会議（4 月 23 日）にて，学生の履修，就学状況について確認および討議した。 ・第 2 回分野会議（5 月 20 日）にて，学部・大学院入試，学生の動向について情報共有および討議した。 ・第 3 回分野会議（6 月 25 日）にて，学部・大学院入試，学生の動向について確認および討議した。 ・第 4 回分野会議（7 月 22 日）にて，学生の動向，学部・大学院入試，授業カリキュラムについて情報共有，確認および討議した。 ・第 5 回分野会議（8 月 23 日）にて，学生の動向について情報共有および討議した。 ・第 6 回分野会議（9 月 24 日）にて，大学院入試，学生の動向について情報共有および討議した。 ・第 7 回分野会議（10 月 28 日）にて，学部・大学院入試，学部カリキュラムについて確認および討議した。 ・第 8 回分野会議（11 月 21 日）にて，大学院入試，学部カリキュラムについて確認および討議した。 ・第 9 回分野会議（12 月 23 日）にて，大学院入試，学部カリキュラムについて確認および討議した。 ・第 10 回分野会議（1 月 28 日）にて，学部カリキュラム，修士論文発表会，卒論発表会，学生の動向について確認および討議した。 ・第 11 回分野会議（2 月 28 日）にて，学部・大学院入試， 	20 人

	<p>学部カリキュラム、学生の動向について確認および討議した。</p> <p>・第12回分野会議（3月26日）にて、大学入試、学生の動向について情報共有および討議した。</p>	
量子放射線工学分野 FD 会議	<p>第1回（4月19日）、第2回（5月17日）、第3回（6月21日）、第4回（7月19日）、第5回（9月20日）、第6回（10月25日）、第7回（11月22日）、第8回（12月20日）、第9回（1月24日）、第10回（2月21日）、第11回（3月21日）</p> <p>上記、月1回のFD会議を開催し専攻提供の講義の実施内容の計画について、学生の研究状取り組み状況について、学生の中間報告会実施について、修士論文発表会における学生発表に対する審査及び評価採点による表彰内容について、それぞれ協議。その他、量子主催テクノラボツアー（11月11日）への学生参加呼び掛けについての周知確認。学生の講義出席状況を確認報告し出席率の悪い学生への指導方法について検討。</p>	11人
量子放射線工学分野臨時 FD 会議（12月23日 オンライン）	<p>博士前期学生の中間報告に対し研究進展状況及び就職活動状況について確認。分野提供科目についての廃止科目及び新規開講科目等カリキュラムと実施内容について確認。</p>	10人
量子放射線工学分野臨時 FD 会議（1月6日 オンライン）	<p>分野の今後の運営に関連し、学生獲得及び指導方法と分野内講義担当などについて討議。</p>	11人

4. 上記以外の教育改善・FDに関する取組

(工学全体)

・2024年度に入学した学部生および大学院生を対象に入学時アンケートを実施し、本学で身につけたい能力や将来取得したい学位など幅広い項目で調査を行なった。結果は工学部内で共有した。

・2024年度に修了する博士前期課程大学院生を対象に修了時アンケートを実施。(2025年3月)

(航空宇宙工学科、航空宇宙工学分野)

・新入生オリエンテーション、学年ガイダンス

・授業評価アンケートの実施と授業改善の検討

・卒論発表優秀賞、および修論発表優秀賞、修論アイデア賞の選出

・「航空宇宙工学工作実習」（前期木曜3・4コマ）について、今年度実施した学科独自の実施状況を踏まえ、来年度に向けた内容の改善を検討

・学部入学制度と在籍学生の成績の分析

(海洋システム工学科、海洋システム工学分野)

・卒業研究ルーブリックの運用を開始するとともに、「海洋システム工学実験」へも展開し、これらによ

る評価結果についてその検討について議論し、引き続き運用することを決めた。

・2024年度の「海洋システム工学機械工作実習」において、外部企業の協力のものと学外での実習を含める形で実施し、その効果について議論するとともに2025年度以降も同形態を継続することを決めた。

・前年度に引き続き、旧カリキュラムと新カリキュラムの接続について協議し、内容の微調整および担当者の変更等を協議し決定した。

・前年度に引き続き、入学区分や学年ごとの成績データを解析し、学生動向や成績動向について調査した。

・前年度に引き続き、外部評価試験結果（2013年度まで StudentEQ 等→2024年度以降 PROG）と成績および教育プログラムとの関係を分析した。

(機械工学科、機械工学分野)

・3年生に進級時のコース分けの方法と受講科目について説明した。

・アドバイザーを中心に成績不振者に対して履修指導を行った。

(建築学科・建築学分野)

・月1回程度開催される学科会議において、学生の就学状況に関する情報を共有し、必要な場合には対策について協議・検討を行った。

・学年横断型の設計課題講評会(Vertical Review)を、公大建築会議と併せて前後期各1回開催した。

・外部講師を招いた講評会において卒業設計最優秀賞を授与した。(2/18)

・学科での卒業証書授与式において、建築学科賞(論文)および建築学科賞(設計)をそれぞれ授与した。(3/24)

・学科 OB・OG による職業ガイダンスを実施した。(7/10,17)

(都市学科・都市学分野)

・学科会議(毎月開催)にて、各学年の学生の履修状況を随時確認した(学生アドバイザーによる報告)。

・卒業研究評価会の運営方法および評価方法について意見交換を行い、これまでの内容の振り返りと海改訂を行った。

・拡大教務委員会を開催(9/18、11/18、1/31、3月)し、完成年度以降の学科提供科目の検討と資格、演習系科目の科目間連携について協議した。

・臨時学科会議を開催し、学科としての将来構想について意見交換した。

・演習科目や実験科目毎にワーキンググループ活動を行い、演習・実験科目の継続的な品質向上を図った。

・B3、M1 向けに都市学科関連業界の説明会を複数回実施した。

(電子物理工学科、電子物理工学分野)

○共通

・カリキュラムオリエンテーションを利用して、新入生が大学生活を滞りなくスタートできるように、新入生向けの導入研修を実施した(4月2日実施)。

・学部生、院生(M,D)向けのオリエンテーションを実施し、大学生活および単位修得に関する注意喚起を行った(4月1,3日実施)

・教室会議において、入学試験及び入学時アンケートの情報を共有した。

・特に「電子物理工学概論1,2」では1年生の意識調査に関するアンケートを実施し、学科内で共有した。アンケート結果を基にして、次年度はより充実した講義にするための意見交換を行った。また、「電子物理工学概論1,2」の成績を基にして成績不振者の動向に関する情報を共有した。

・工学FDセミナー等の学内FDセミナーに参加した(詳細は6.で説明)。

○電子物性コース

- ・講担会議・教室会議を定期的実施し、教育の質の改善・向上に関する取り組みを実施している。
 - ・前期・後期に実施する授業評価アンケートの分析結果の情報を共有した。
 - ・卒業・修了時アンケートの情報を共有した。
 - ・特に M2 怠惰学生に対する設定した指導ルールを確認・実行した。
- ・教育 PDCA サイクルを実践すると同時に課題点を洗い出し、講担会議・教室会議 (各 11 回) を通して、解決に向けた検討を行った。FD 活動報告会の後、学外チェック委員にコメントをいただき、来年度以降の課題を整理した。
 - ・電子物理工学実験 I, II について、出席・レポート提出状況を担当教員以外も参照できるようにすることで、主任や学年アドバイザーの教員等が適宜サポートできる体制を整えた。
 - ・大学院講義において海外からの特別履修生対象に、講義内容の理解を助けるための英文の補足資料を作成して提供した。最終レポートの記述内容より講義理解に有効であったことが確認できた。
 - ・アセスメントシートに基づく点検について講担会議および教室会議で情報共有・意見交換を行い、点検内容に問題がないことおよび実効性が伴っていることを確認した。

○電子材料コース

- ・教室会議を定期的実施し、教育の質の改善・向上に関する取り組みを実施している。
 - ・前期・後期実施する授業評価アンケートの分析結果の情報を共有した。
- ・2024 年度の卒業・修了時アンケートの情報を共有した。
- ・電子物理工学実験 1 (電子材料) で開講するテーマ「研究開発実務研修」での工場見学先を実験科目担当教員全員で協議し、日清紡マイクロデバイス株式会社を訪問先として決定した。
- ・電子物理工学実験 1 (電子材料) の成績講評を実験科目担当教員全員で行い、情報を共有した。
- ・2025 年度の電子物理工学実験 2 (電子材料) の学習向上のための実験テーマの検討。

(電気電子システム工学科、電気電子システム工学分野)

- ・大学の実施する学生アンケートを学科独自で集計を行い、教員間で共有した。
- ・3 年生後期の実験科目のまとめとして成果発表会を実施した。実験担当以外の教員も参加し、実験 担当者以外の視点からのコメントを行った。コメントは学生がレポート内にまとめることで実験担当者が共有した。
- ・3 年生に研究室の雰囲気を知ってもらい、研究室配属先選択の一助とするため 12/2~6 に分野全研究室の研究室見学会(オープンラボ)を開催した。
- ・3 年生に配属希望研究室の研究内容を知ってもらうため、M1 科目の特別演習第 2 で実施するポスター発表会を 3 年生の実験科目の中に組み込んだ。

(応用化学科、応用化学分野)

- ・学年毎に3名の担任教員を設け、4月にカリキュラムに関するオリエンテーションを実施し、年間を通して学生からの相談に応じることのできる体制を敷いている。
- ・実験科目については、基礎教育科目である1年次の基礎化学実験の担当として、学科から複数の教員を出すことによって入学直後の学生の化学に関する理解度を把握し、2年次以降に実施する専門科目である応用化学実験につなげるための学科内での情報共有を行っている。
- ・演習科目については、理解度や学習状況を把握するためのアンケートを実施し、次年度以降の授業改善に向けて活用することになっている。

(化学工学科、化学工学分野)

○学部・課程

・化学工学科（1-3年生）および化学工学課程（4年生）では、4月および必要な時期に、学年ごとにとりまとめたガイダンス資料に基づいたカリキュラムオリエンテーションを開き、学生の履修相談等に積極的に助言を与える。また、3年次編入学の学生に対しても別途ガイダンスを開き、単位認定も踏まえた卒業に向けてのガイダンスを行う。

・授業の履修や学生生活における相談窓口として、学生アドバイザーに加え、いつでも教員と相談できるコンタクト教員制度を導入し、修学・進路・家庭・課外活動・その他学生生活全般についての相談に応じるとともに、指導または助言を与える。特に成績不振者や過年度生について、学生アドバイザーが面談を行い、適切な助言を行う。

・毎月、教室会議終了後に職員会議を開催し、授業の履修・出席状況を確認し、学生アドバイザーやコンタクト教員による対応など、問題解決のための協議を行う。

・独自のマークシート式の授業アンケート、職員会議、カリキュラム委員会などで挙げた意見や問題を話し合い、教育の質の改善・向上に生かす取組みを続ける。

・内部質保証の観点から、学卒の程度の化学工学に関連した専門的応用能力を持っている「技術者」「研究者」を対象にした外部試験として「化学工学技士（基礎）」の受験を推奨し、その結果を今後の教育に反映する。

○大学院

・博士前期課程および博士後期課程のすべての学年に対して、ガイダンス資料に基づいたカリキュラムオリエンテーションを開き、学生の履修相談、研究の進捗などに積極的に助言を与える。また、大学院博士後期課程進学における経済的なサポート状況などの大学や工学研究科の制度などを詳しく説明する説明会を開催する。

・指導教員のみならず分野長、副分野長、教務委員などが、家庭・課外活動・その他学生生活全般についての相談に応じるとともに、指導または助言を与える。

・毎月授業の履修・出席、研究室での研究の進捗状況を確認し、教室会議終了後の職員会議で報告し、研究指導教員による対応など、問題解決のための協議をする。

・大学院の博士後期課程学生の博士研究の進捗状況を分野全教員で共有する。

・独自のマークシート式の授業アンケート、職員会議、カリキュラム委員会などで挙げた意見や問題を話し合い、教育の質の改善・向上に生かす取組みを続ける。

（マテリアル工学科・マテリアル工学分野）

・学科／分野内FD活動計画・進捗などについて議論するため、ワーキンググループを編制した。

・毎月開催される担当者会議、教室会議内で成績不振者への対応など学科のFD全般について議論した。

・学生本人の希望に基づき副指導教員を決定し、定期的な面談を行い、精神的なケアを含む研究指導のサポートを行った。

・アクティブラーニング等を取り入れた新しい授業形態について情報共有した。

・ていら・みずの活用法に関して情報共有を行った。

・成績不審者へのメール連絡または面談を行った。

・全学／工学FDセミナーへの参加を呼び掛けた。

・完成年度以降のカリキュラム、時間割等について議論した。

・教員人員構成の変化に対応し、講義担当者、講義科目および内容の見直しを行った。

・国内外から著名な研究者を招き講演会を開催し、最先端の研究内容について学ぶ機会を設けた。

・入試区分と成績との相関について議論した。

(化学バイオ工学科, 物質化学生命系化学バイオ工学分野)

・1-3回生全員に対し, 学生自身による単位取得状況振り返りの機会を設けるとともに, 教員との個人面談を行い履修計画に対するアドバイス等を半期ごとに行った。4回生および大学院生に対しては, 所属研究室の研究指導教員が適宜対応した。

・月1回開催の学科・分野会議において, 注意が必要な学生の動向に関する情報を共有し, 適宜対応を協議した。

(量子放射線系専攻)

・学内外で開催されている放射線教育関連の催し等の機会を通じて中学・高校教員等の意見交換し, その中で得られた情報を上記FD会議で共有し, その成果を分野の教育活動に役立てた。

・M1の中間発表会を実施し, それらの発表に対する講評により学生の研究質の工場を図る取り組みを行った。

5. 年に1回以上、FD活動に参加した専任教員の人数 [実数] (必ずご記入ください)

・年に1回以上、FD活動に参加した専任教員の人数 (250) 人

・所属内の専任教員の人数 (252) 人

6. その他、追記事項

(航空宇宙工学科, 航空宇宙工学分野)

・航空宇宙工学科では, 編入学試験問題作成委員会を組織し, 各年度の試験問題について検討している。航空宇宙工学分野では, 大学院入試委員会(専門基礎/専門科目作成委員会)を組織し, 各年度の大学院入試問題および入試全般に関して検討している。

(電子物理工学科, 電子物理工学分野)

○電子物性コース

・講担会議・教室会議を定期的実施し, 教育の質の改善・向上に関する取り組みを実施している。

・学生の成績(GP)を基にして成績不振者の動向に関する情報を共有した。

・電子材料コースの過年度生(旧市大電物所属学生)の学習意欲を高めるためにB7棟E316室を学習室として整備した。

・退官する教員の受け持つ講義を今後どのように引き継ぐか協議した

○セミナー等の参加状況

2024.04.18 全学FDセミナー「内部質保証スタートアップ支援事業成果報告会」 参加4名

2024.5.31 全学FDセミナー「大学教育研究セミナー“OCU指標からみる大阪市立大学学生の学修成果”」 参加7名

2024.06.18 全学FDセミナー「moodle活用講座」 参加6名

2024.08.26 工学FDセミナー/高大接続セミナー「高等学校における学習指導要領改訂に伴う数学科教育の今」 参加26名

2024.09.09 Turnitin社FeedBackStudio剽窃チェックツールの教員向け説明会 参加2名

2024.09.10 全学FD研究会「本学における健康教育・支援の取組み」 参加3名

2024.11.06 全学FD「大阪公立大学学生の1年次の学修に関する調査結果報告」 参加6名

2024.11.29 第3回教育改革フォーラム「より良い授業のためのインストラクショナルデザイン」

参加1名

2025.01.24 第1回 FD ワークショップ「大学で働く人のメンタルヘルスケア」 参加3名

オンデマンド アンコンシャスバイアス研修 1名

(電気電子システム工学科、電気電子システム工学分野)

・学生用の Teams のグループを作成・活用し、学生向けの案内や情報共有ができる環境を整え、学生教育へ役立てた。

1. 各部局のFDの検討・実施体制を書いてください。（必ずご記入ください）		
<p>○教育改革委員が理学FD委員会を組織 ○教育改革委員会の議事録，議事資料等の全情報を理学FD委員会に開示，共有</p> <p>数学科・数学専攻： 数学科FDミーティングを，大阪公立大学として統合後，杉本，中百舌鳥両キャンパスにおける前後期講義に関する意見交換，今後に向けた課題に対する認識及び共有を図ることを目的として定期的開催している。</p> <p>物理学科・物理学専攻： 教室会議・運営委員会における教員間の情報共有と議論. 談話会における学外者による講演. 学生ガイダンスや3年生への研究室紹介における学生からのフィードバック. 修士論文発表会・博士論文公聴会における教育成果の検証。</p> <p>化学科・化学専攻： 専攻会議や教室会議において教員間の情報共有と議論を行っている。大学入学試験時の成績を含めて学年の半期ごとに履修状況や成績を追跡した結果を共有し，指導方法や成績評価について見直す機会を設けている。</p> <p>生物学科・生物学専攻： 生物学専攻会議において，教員間の情報共有と議論を通してFD活動を行っている。</p> <p>地球学科・地球学専攻： 地球学科構成員全員で，カリキュラム，成績評価，履修状況などの情報を専攻会議などの場で共有し，課題や対策の議論を通じて，FD活動を進めている。</p> <p>生物化学科・生物化学専攻： 生物化学科専攻会議構成員（生物化学専攻教授，准教授，講師，助教）が主体となり，当該専攻および学科のFD活動を実施している。授業内容に関しては，授業ふり返り（授業評価アンケートを含む）の実施ならびにその回答を活用し，専攻会議構成員内で共有し，FD活動の促進を図っている。</p>		
2. 教育改善・教育評価・FDに関する講演会，セミナー，ワークショップ等の開催		
数学科・数学専攻		
開催日	内容（タイトル）	参加者数
4月2日	就活ガイダンス	約40名
4月2日	学部新入生向けカリキュラムオリエンテーション	約50名
4月3日	大学院新入生向けカリキュラムオリエンテーション	約20名
5月9日	談話会	19名
5月14日	新入生歓迎会・学科交流会	84名
5月20日	談話会	11名
7月11日	談話会	22名
8月20日	博士学位論文公聴会（中百舌鳥キャンパス）	8名
11月1日	学部3年生への進路説明会	約30名
11月9日	高等学校・大阪公立大学連携数学協議会シンポジウム	71名（うちオンライン20名）
12月23日	3年生との懇親会	41名

2月6日	修士論文発表会（杉本キャンパス）	約40名
2月6日	修士論文発表会（中百舌鳥キャンパス）	約35名
2月7日	卒業研究発表会（中百舌鳥キャンパス）	約40名
2月13日	卒業研究発表会（杉本キャンパス）	約50名
2月21日	博士学位論文公聴会（2名，杉本キャンパス）	1人目11名，2人目9名
3月7日	理学研究科FD委員会・大阪公立大学数学研究所共催FD研修会「科学計算と数学」	36名
3月27日	在学生向け学年ガイダンス	新2年生25名，新3年生15名
物理学科・物理学専攻		
開催日	内容（タイトル）	参加者数
4月2日	新入生オリエンテーション	約80名
4月17日	新入生歓迎会	約80名
4月26日	春の物性セミナー	約30名
5月～1月	談話会（5月16, 24日, 6月20日, 8月29日, 11月13, 28日, 10月11日, 12月10, 11日, 1月23日）	平均約30名
5月25日	新入生保護者懇談会	約30名
8月6日	夏の物性セミナー	約30名
9月26日	研究室配属説明会	約80名
11月24日	南部・アインシュタインセミナー2024	約60名
12月26日	物理学教室年末発表会	約50名
2月6, 14, 18, 19日	修士論文発表会	約80名
2月～3月	卒業論文発表会	約80名
2月17日	博士論文公聴会	約30名
化学科・化学専攻		
開催日	内容（タイトル）	参加者数
4月2日	新学部生カリキュラムオリエンテーション	約90名
4月2日	新大学院生カリキュラムオリエンテーション	約70名
4月～2月	講演会（4月16, 21, 25, 26日, 5月1, 7, 31日, 6月6, 25日, 7月3日2回, 9月2日, 10月4, 16, 17日, 1月8, 24日, 2月17日）	各回平均30名
1月10, 24日	研究室紹介	約130名
2月19日	博士学位論文公聴会	約60名
2月20, 21日	卒業研究発表会	約190名

3月6,7日	修士業績発表会	約150名
3月8日	大学院進学説明会	約80名
生物学科・生物学専攻		
開催日	内容(タイトル)	参加者数
4月2日	学年ガイダンス	各学年の学生も含めて平均40名
8月30日, 12月24日	学位論文公聴会	学生を含めて50名程度
8月30日, 2月7日	修士論文発表会	学生を含めて150名
10月1,2日	研究室ガイダンス	学生を含めて40名
2月18日	卒業研究発表会	学生を含めて150名
地球学科・地球学専攻		
開催日	内容(タイトル)	参加者数
4月2日	新入生オリエンテーション	学生を含めて40名程度
4月2日	大学院新入生ガイダンス	学生を含めて30名程度
4月20日	地球学科新入生歓迎会	学生を含めて50名程度
8月5日	3年生の履修状況確認と研究室の配属ガイダンス	学生を含めて40名程度
2月1日	卒業演習発表会	学生を含めて80名程度
2月7日	修士論文発表会	学生を含めて60名程度
2月14日	卒業研究発表会	学生を含めて50名程度
生物化学科・生物化学専攻		
開催日	内容(タイトル)	参加者数
4月2日	新入生カリキュラムオリエンテーション	学生を含めて67名
6月3日	研究室紹介	学生を含めて36名
9月2日	研究企画ゼミナール1,2(修士1年,博士課程1年 研究発表会)	学生を含めて54名
9月24日	修士2年 研究発表会	学生を含めて44名
2月19日	博士論文公聴会	学生を含めて20名
2月21日	修士論文発表会	学生を含めて44名
3月3日	卒業研究発表会	学生を含めて70名
3. 上記以外の教育改善・FDに関する取組 上記以外の教育改善・FDに関する取組 教育評価・FDに関する会議,委員会等の開催		
会議・委員会名	内容・開催日(複数回の場合は「第1回(*月*日)~について」「第2回...」と記載)	委員の人数

数学科 FD ミーティング	第1回8月23日, 第2回3月1日(予定). 杉本, 中百舌鳥両キャンパス数学科専任教員が集合する年度内2回の機会をFDミーティング開催に活用している. 前後期講義に関する意見交換及びそれらに対する今後の課題を共有することを目的として実施している.	41名(数学科専任教員全員)
物理学教室 教室会議	「専攻長会議教務事項報告を受けて」 4/25, 5/30, 6/27, 7/25, 8/29, 9/26, 10/25, 11/29, 12/27, 1/31, 2/21, 3/28	46名
物理学教室運営委員会	「大学院入試について」4/16, 4/30, 5/14, 7/9, 7/23, 8/6, 9/24, 11/5 「研究室配属について」4/30, 5/14, 5/28, 6/11, 1/7, 1/21 「森ノ宮 TA について」4/30, 5/14 「博士学位授与規定, 早期修了要件について」5/28, 6/25, 8/6 「卒業に必要な一般教育科目の単位数の削減の検討について」6/11 「将来構想委員会における国際化構想」9/3 「学校推薦型入試に関する議論」10/8, 10/22 「修士論文発表会について」11/19 「同窓会の学生褒賞について」12/3 「オープンキャンパスについて」12/17	25名
化学専攻会議(対面, Zoom)・化学科教室会議(メール会議)	「研究企画ゼミナールの実施方法」2024/4/12 「博士論文審査について」2024/4/12, 2024/6/14 「研究指導教員等の内規について」2024/5/17, 2024/6/14 「24年度入試の志願者/合格者から得られたアンケート集計結果について」2024/6/14 「大学院入試について」2024/6/14, 2024/7/12, 2024/9/13, 2024/11/15, 2024/12/13 「大学院進学説明会について(外部)」2024/9/13, 2024/10/11 「4回生の研究室配属について」2024/10/11, 2024/12/13 「学部入試について」2024/10/11 「学生の成績推移について情報共有ならびにカリキュラムについて意見交換」2024/10/11, 2024/12/13 「化学実験1,2の実験内容の再検討について」2024/10/11, 2024/11/15, 2025/1/10 「学生のキャンパス内施設の滞在時間について」2025/1/10 「化学専攻として遵守すべきルールの改正について」2025/1/10	約45名参加
化学教員会議(対面)	「化学専攻の安全対策について」2024/12/24 「化学専攻内の安全衛生ワーキンググループの設置について」2024/12/24	約45名参加
生物学専攻・生物学科教授会	「卒研発表会・修論発表会について」11/29 「深夜・早朝および休日に学生が行う実験について」1/9 「大学院2次募集について」1/9	10名参加

<p>生物学専攻・生物 学科教室会議</p>	<p>「大学院入試について、学部入試について」 5/1, 6/1, 8/3 「2025年度大学院科目について」 11/18 「秋入学に対する生物学科意見の編成」 12/26 「基幹教育科目見直しに対する生物学科意見の編成」 10/24 「学部学生の所属研究室について」 10/10 「論文博士の予備申請について」 11/18 「課程博士の学位請求について」 12/26 「学業成績・研究業績が優秀な学生の推薦について」 1/29</p>	<p>平均 23 名参 加</p>
<p>地球学専攻会議</p>	<p>第 1 回（5 月 21 日）2025 年度「地球学実験 C」の履修・2023 年前期国際基幹教育科目の GPC データ・学部・大学院の専門科目の試験実施調査と SDGs 調査の 6 月実施アンケートについてについて 第 2 回（6 月 25 日）飛び級で大学院に進学する場合の資格・2025 春入学 英語コース募集要項・「サイエンスフロンティア」の授業アンケートについて 第 3 回（8 月 23 日）2024 年度学生調査について 第 4 回（9 月 24 日）FD 委員会報告・科目履修生が履修できる専門科目・クラウド教室 Eclair の活用・地質調査法の科目数と地球学卒業演習の単位数の変更・地球学演習 A・B の曜日と時限の変更について 第 5 回（10 月 29 日）学部科目「初年次ゼミナール」および大学院科目「研究公正」の実施体制について 第 6 回（11 月 26 日）理学部要覧，理学研究科要覧の確認について 第 7 回（12 月 24 日）基幹教育科目の 24 年度前期 GPC データについて 第 8 回（1 月 28 日）学生のキャンパス内施設の滞在時間・ディプロマポリシーとカリキュラムポリシーの修正について</p>	<p>各回約 15 名</p>

<p>生物化学専攻・生物化学科教室会議</p>	<p>第1回(4月18日)「府大生物科学課程の授業(再履修者対象)の日程調整, 学生実習の内容調整, 学部3年生の研究室配属について」 第2回(5月23日)「2024年度前期履修状況の確認, 新入生保護者懇談会のプログラム作成, 復学学生に対する学習指導について, QRコードを使用した出席システムの利用における問題点について」 第3回(6月20日)「学科生の休学について, 修士課程1年および2年の発表会について, 2025年度に向けた新入生保護者懇談会の準備」 第4回(7月18日)「オープンキャンパスの開催内容について, 大学院入試について, 修士論文発表会について, 化学物質取り扱いについて」 第5回(9月19日)「学部3年生の大学院進学について, 後期開講科目のシラバスの確認, 再履修者対象の授業について」 第6回(10月17日)「2025年度森ノ宮キャンパス開講科目の確認, 実施の詳細(遠隔, 対面PC活用教室の利用など)の協議, 2025年度, 2026年度の森之宮キャンパス移行後の時間割について」 第7回(11月21日)「秋入学者に対応した新たな教育組織について, 新入生カリキュラムオリエンテーションの開催内容について, 2025年度, 2026年度の森之宮キャンパス移行後の時間割について」 第8回(12月19日)「学部1年, 2年, 3年生の実習内容について, 公大授業について, 博士後期課程の学位論文の取扱いおよび審査について」 第9回(1月16日)「2024年度修士論文抄録集, 卒業研究抄録集のPDF化について, 学生のキャンパス内施設の滞在時間について, 2025年度開講の集中講義について, 修士・博士新入生オリエンテーションについて」 第10回(2月20日)「2025年度の教務・カリキュラムについて, 学生のキャンパス内施設の滞在時間について(1月からの継続), 修士論文, 卒業研究発表会について, 修士・博士新入生オリエンテーションについて」 第11回(3月27日予定)「学生の就学状況(学生異動・成績を含む)などについての情報の把握と共有, 学生の修学指導について」</p>	<p>17名</p>
-------------------------	---	------------

<p>4. 上記以外の教育改善・FDに関する取組</p>	
<p>数学科・数学専攻: 理学部数学科では学部学生の数学に関する質問に答えるために杉本キャンパスで数学相談室を開室しており, また国際基幹教育機構数学グループが中百舌鳥キャンパスで設置している数学相談室の運営に協力している. 理学研究科数学専攻・数学研究所(OCAMI)は, 数学教育の充実を図るため, 学生, 教職員, 研究者, 一般の方を対象に, 大学院教育をはじめとする新しい数学教育の展開のためのFD研修会を, 多様な分野から研究者を招聘し開催している. これは, 大阪市立大学数学教室のFD活動に遡り10年以上の活動実績がある. 大阪公立大学数学科は, このFD研修会を継承しFD活動として実施している.</p>	
<p>物理学科・物理学専攻: 「物理学実験WG」(担当教員による会議)を講義期間中に断続的に開催. 学生アドバイザーによる学生との個別面談(年1, 2回) 年次報告書を作成し, 教育活動・成果について共有</p>	

2024 年度 部局 FD 活動報告

農学部・研究科

<p>1. 各部局の FD の検討・実施体制を書いてください。（必ずご記入ください）</p> <ul style="list-style-type: none"> 各学科・専攻の会議にて、学部／研究科教育運営委員が主体となって FD 活動を実施した。 学部・研究科の教員および学生を対象としたセミナーを農学セミナーとして周知した。 		
<p>2. 教育改善・教育評価・FD に関する講演会、セミナー、ワークショップ等の開催</p>		
開催日	内容（タイトル）	参加者数
4月12日（金）	農学セミナー1（植物の栄養輸送システムの理解に向けた試み/反田直之・大阪公立大）	43
5月17日（金）	農学セミナー2（アフリカにおける野生動物の保全と地域の発展のための科学の貢献/寺田佐恵子）	35
7月5日（金）	オープンセミナー1（Functional maturation, mass production and immune-evasion of stem cell derived islets/吉原 栄治・Lundquist Institute at Harbor-UCLA Medical Center, USA）	24
7月22日（月）	農学セミナー3（ネイチャーポジティブ—産業界の農学への期待/柴田大輔・JST、大阪公立大客員教授）	15
10月10日（木）	農学セミナー4（花粉内小胞による Small RNA 輸送とエピジェネティクス制御の新知見、および分泌経路における亜鉛輸送体の役割/河内美樹・Georg-August-Universität Göttingen, Germany）	20
10月22日（火）	農学セミナー5（Sterol diversity and biogenesis in organisms/Hubert Schaller・Strasbourg University, France）	10
11月1日（金）	大阪府立園芸高等学校 DX 加速化推進事業に関する教員向け講習会（実技講習、事例の紹介）	6
12月13日（金）	シンポジウム（植物免疫活性化剤の網羅的探索/能年義輝・岡山大、植物も土壤微生物もしたたかに生きている/村田純・サントリー生命科学財団、植物のコミュニケーション能力を生かした農業技術の開発/山内靖雄・神戸大、殺虫から制虫の転換に向けて/安部洋・RIKEN、温度から考える植物細胞の環境応答メカニズム/稲田のりこ）	150
<p>3. 教育改善・教育評価・FD に関する会議、委員会等の開催</p>		
会議・委員会名	内容・開催日 （複数回の場合は「第1回（*月*日）～について」 「第2回…」と記載）	委員の人数
農学研究科教務委員会	第1回（10月2日）農学研究科長期履修実施要領の改正について、全学教務委員会報告など	8

	<p>第 2 回（12 月 23 日）大阪公立大学大学院農学研究科規程の一部改正について、全学教務委員会報告</p> <p>第 3 回（1 月 8 日）履修課程表のカリキュラム変更について、2025 年度研究科要覧（案）について</p> <p>第 4 回（2 月 6 日）農学研究科学生のキャンパス内施設の滞在時間に関する申し合わせについて</p>	
農学部教務委員会	<p>第 1 回（6 月 25 日）農学部における転学部・転学科実施内容の検討について、大阪公立大学副専攻の開設について</p> <p>第 2 回（9 月 30 日）全学教務委員会報告、森之宮キャンパス開講科目における遠隔授業実施の協力について</p> <p>第 3 回（1 月 14 日）植物工場科学副専攻の 2026 年度以降入学生に対する募集停止について、全学教務委員会報告</p> <p>第 4 回（2 月 6 日）農学部生のキャンパス内施設の滞在時間に関する申し合わせについて</p>	8
農学部学士課程秋入学に対応する教育組織 WG	<p>第 1 回（11 月 12 日）学士課程秋入学に対応する教育組織への農学部の参画について</p> <p>第 2 回（2 月 10 日）学士課程秋入学に対応する教育組織について</p>	11
農学部基幹教育 WG	<p>第 1 回（10 月 11 日）基幹教育科目の単位数の変更などについて</p> <p>第 2 回（11 月 6 日）基幹教育科目（初年時ゼミナール）の意向調査への対応について</p> <p>第 3 回（12 月 5 日）基幹教育科目（初年時ゼミナール）の意向調査への対応について</p>	10
4. 上記以外の教育改善・FD に関する取組		
農学部入試アセスメントアンケート（1、2 年生対象）を実施		
5. 年に 1 回以上、FD 活動に参加した専任教員の人数 [実数]（必ずご記入ください）		
・年に 1 回以上、FD 活動に参加した専任教員の人数 （67）人		
・所属内の専任教員の人数 （67）人		
6. その他、追記事項		

2024 年度 部局 FD 活動報告

獣医学部・研究科

<p>1. 各部局のFDの検討・実施体制を書いてください。（必ずご記入ください）</p> <ul style="list-style-type: none"> 「授業振り返り（授業アンケート）」に対する教員コメントの入力を推進した。 学部（学類）生（1～4回生）の単位修得状況を保証人へ連絡するとともに、成績状況を把握することで学生に対する個別指導に役立てた。 複数の講義で独自に授業内容に関する学生へのアンケート調査を実施した。 卒業研究の実施内容等の改善のため、卒研委員会および教員会議で議論を行い、その情報を全教員で共有した。 2024年度のGPC成績一覧表を教員会議内で開示し、最適化に向けて情報共有を行い、学部・学類教育運営委員会でも改善に向けて検討した。 著名な研究者を招聘し、獣医学専攻教員・学生の知識向上のための集談会を実施した。 獣医臨床センターの教員ならびにスタッフの飼い主様への対応を向上させるための研修を実施した。 獣医臨床センターの教員ならびにスタッフの臨床技術を向上させるためにOMU-VMCセミナーを実施した。 獣医臨床センターの教員ならびにスタッフに対して生命倫理と安全管理に関する研修を実施した。 		
<p>2. 教育改善・教育評価・FDに関する講演会、セミナー、ワークショップ等の開催</p>		
開催日	内容（タイトル）	参加者数
2024年6月21日	獣医学国際オープンセミナー「Thermoregulation and heat illness in exercising horses」 Elisabeth-Lidwien J.M.M.先生（The University of Adelaide）	20名
2024年6月22日、7月6日、11月16日および30日、12月14日、1月11日	医療面接スーパーバイザー研修（医療面接実習を行う際のスーパーバイザーに関する研修）	20名
2024年10月2日	獣医学オープンセミナー「腸内細菌と食中毒菌の機能解明ならびにワクチン・診断法の開発」 國澤 純 先生（医薬基盤・健康・栄養研究所）	20名
2024年11月13日	獣医学オープンセミナー「自然宿主モデルとしてのゾウリムシの活用」 度会 雅久 先生（山口大学共同獣医学部）	20名
2024年11月22日	獣医学オープンセミナー「持続感染ウイルスの病原性とその治療法の探索」 本田 知之 先生（岡山大学）	15名
2024年12月5日	獣医学オープンセミナー「豚病原性大腸菌の多剤耐性」 楠本 正博 先生（農研機構動物衛生研究部門）	20名

2024年12月13日	獣医学オープンセミナー「家畜の生産性向上を目的とした粘膜免疫学研究の最前線」野地 智法 先生（東北大学）	20名
2024年12月24日	獣医学国際オープンセミナー「Antimicrobial resistance: a Major Challenge to One Health」Qijing Zhang 先生（Iowa State University）	20名
2024年11月25日	第1回りんくう研究セッション、細見 晃司（本学准教授）	10名
2025年1月15日	獣医学国際オープンセミナー「Current situation on gastrointestinal parasite infections in domestic animals and environmental contaminations in Bangkok, Thailand」Tawin Inpankaew 先生（Kasetsart University）	15名
2025年2月4日	獣医学国際オープンセミナー「Phage therapy in veterinary medicine -from the lab to the field-」Damien Thiry 先生（University of Liège）	20名
2025年2月13日	獣医学オープンセミナー「新たな視点からみる感染症」飯田 哲也 先生（大阪大学微生物病研究所）	20名
3. 教育改善・教育評価・FDに関する会議、委員会等の開催		
会議・委員会名	内容・開催日 （複数回の場合は「第1回（*月*日）～について」 「第2回…」と記載）	委員の人数
学部・学類教育運営委員会	カリキュラムおよび授業実施方法、GPCの結果について、最適化に向けた情報共有と検討（2025年1月21日）	10
CBT運営委員会	CBTの実施および運営等に関する検討（2024年4月～2025年2月まで、メール等による検討は15回以上）	7
図書委員会	りんくう図書館委員会を2回開催。図書室の利用、蔵書、および管理運営について審議（第1回6月25日（火）、第2回10月3日（木））	6
4. 上記以外の教育改善・FDに関する取組		
特になし		
5. 年に1回以上、FD活動に参加した専任教員の人数 [実数]（必ずご記入ください）		
・年に1回以上、FD活動に参加した専任教員の人数（45）人		
・所属内の専任教員の人数（45）人		
6. その他、追記事項		
<ul style="list-style-type: none"> ・卒研検討委員会（委員9名）にて、5月の獣医学演習の実施、そして12月の卒業研究発表会および学生の発表内容等について改善を図るために意見交換と討議を行い、その内容を教員会議で情報共有を行った。（1年間で、対面、Zoomおよびメール審議含め、数十回程度の打ち合わせを実施）。 ・OSCE委員会（委員16名）では、2024年度のOSCE本試験の実施およびこれに向けた実習の改善と審査を担当する教員の訓練の実施等について、検討を行った。具体的には、主に委員長と4分野の責任者間でメールや電話 		

連絡による打合せと情報共有を行った（1年間で数十回程度の打ち合わせを実施）。また、これ以外にも、各試験分野の実施内容について分野責任者が全大学の責任者と直接やり取りし、委員会で情報共有を行った。

2024 年度 部局 FD 活動報告

医学部・医学研究科

<p>1. 各部局の FD の検討・実施体制を書いてください。（必ずご記入ください）</p> <p>教育活動等について講演する FD 講演会を年 4 回実施している。（2024 年度のみ 3 回）</p> <p>ワークショップ形式により医学教育について涵養する FD-WS を年 2 回実施している。（2024 年度のみ 1 回）</p>		
<p>2. 教育改善・教育評価・FD に関する講演会、セミナー、ワークショップ等の開催</p>		
開催日	内容（タイトル）	参加者数
2024 年 9 月 11 日(水) 17:30~18:30	<p>2024 年度 第 1 回 教育分野 FD 講演会</p> <ul style="list-style-type: none"> ○【シリーズ：Teacher of the Year 2023 受賞講演】 「私の医学教育への取り組み」法医学 谷 直人助教 ○「早期臨床実習 2 -Second Exposure- について」 学務課 中村 有花係員 ○「大阪公立大学 vision2030 を踏まえた医学部の未来像」 医学研究科長 鶴田 大輔教授 	176 人
2024 年 12 月 9 日(月) 13:00~17:00	<p>第 12 回 大阪公立大学医学部 FD-WS</p> <p>13:00 開会「ワークショップとは？」 おしながき スタッフ紹介</p> <p>13:10 【W1】 教育：困っていること</p> <p>13:50 【D1】 全体発表</p> <p>14:10 【W2】 困っていることへの対応方法</p> <p>14:55 【D2】 全体発表</p> <p>15:20 休憩</p> <p>15:30 【L】 学生評価と学習の種類</p> <p>15:50 【W3】 卒業時目標設定&ロードマップ作製</p> <p>16:25 【D3】 全体発表</p> <p>16:45 【D4】 振り返り</p> <p>16:50 閉会実績証贈呈、集合写真撮影</p> <p>【W】：グループワーク 【D】：全体討論 【L】：講義 数字は各セッション</p>	49 人
2024 年 12 月 9 日(月) 17:30~18:30	<p>2024 年度 第 2 回 教育分野 FD 講演会</p> <ul style="list-style-type: none"> ○【シリーズ：Teacher of the Year 2023 受賞講演】 「mini-CEX ガチ勢が行う整形外科臨床実習」 整形外科 玉井 孝司 病院講師 ○「楽しく回る消化器外科 CC」 消化器外科学 豊川 貴弘 准教授 ○【シリーズ：2024 医学教育分野別認証評価を終えて】 	156 人

	「3度目の受審結果について -総論-」 医学科長/教務委員長/総合医学教育学 首藤 太一 教授	
2025年3月5日(水) 17:30~18:30	2024年度 第3回 教育分野FD講演会 ○【シリーズ:Teacher of the Year 2023 受賞講演】 「私の教育への取り組み(智仁勇)」 機能細胞形態学(動物実験施設) 宇留島 隼人 准教授 ○【シリーズ:講義・実習の新しい形】 「ロボット時代における“トキメキ”の外科医教育」 副教務委員長/女性生涯医学 橘 大介 教授、消化器 外科学 前田 清 教授 ○【シリーズ:2024 医学教育分野別認証評価を終えて】 「-領域8:統括および管理運営-」 肝胆膵病態内科学 小田桐 直志 病院講師	167人
3. 教育改善・教育評価・FDに関する会議、委員会等の開催		
会議・委員会名	内容・開催日 (複数回の場合は「第1回(*月*日)~について」 「第2回…」と記載)	委員の人数
4. 上記以外の教育改善・FDに関する取組		
特になし。		
5. 年に1回以上、FD活動に参加した専任教員の人数 [実数] (必ずご記入ください)		
・年に1回以上、FD活動に参加した専任教員の人数 (229)人		
・所属内の専任教員の人数 (262)人		
6. その他、追記事項		

2024年度 部局 FD 活動報告

医学部リハビリテーション学科・リハビリテーション学研究所

<p>1. 各部局のFDの検討・実施体制を書いてください。(必ずご記入ください)</p> <p>部局FDの検討・実施体制は、部局教務委員会内に設置している。委員の構成は、羽曳野学生グループ教務担当事務4名、理学療法学専攻教員2名、作業療法学専攻教員3名の合計9名である。委員会は、月1回の頻度で開催し、学内セミナーの周知、カリキュラム、シラバス記載方法の周知、GPC分布確認などを中心に論議している。委員会での審議および報告事項は、部局教授会を通し、各専攻にて周知している。</p>		
<p>2. 教育改善・教育評価・FDに関する講演会、セミナー、ワークショップ等の開催</p>		
開催日	内容(タイトル)	参加者数
2024年5月17日13時	第1回臨床実習指導者会議(臨床施設参加34名,教員12名)	46名
2024年5月17日15時	第2回臨床実習指導者会議(臨床施設参加16名,教員12名)	28名
2024年7月8日	第3回臨床実習指導者会議(臨床施設参加19名,教員12名)	31名
2024年9月24日	入試関連FD「面接試験に革新をもたらすMMI」	20名
2024年12月21,22日	臨床実習指導者講習会(臨床施設参加76名,教員1名)	77名
2025年3月17日予定	第4回臨床実習指導者会議(予定)	
<p>3. 教育改善・教育評価・FDに関する会議、委員会等の開催</p>		
会議・委員会名	内容・開催日 (複数回の場合は「第1回(*月*日)～について」 「第2回…」と記載)	委員の人数
部局教務委員会	月1回(水曜日) カリキュラム, 評定, シラバスなど	8名
理学療法学専攻会議	隔週1回(月曜日) カリキュラム, 評定, シラバス, 臨床実習, 国家試験など	12名
作業療法学専攻会議	週1回(月曜日) カリキュラム, 評定, シラバス, 臨床実習, 国家試験など	12名
<p>4. 上記以外の教育改善・FDに関する取組</p>		
<p>1) 自己点検・自己評価</p> <p>厚生労働省通知「理学療法士作業療法士養成施設指導ガイドラインの一部改正」にて、「養成施設は、自らの教員資格及び教育内容等について自己点検、自己評価及びその結果の公表を毎年度行うこと」とあり、「教員資格及び教育内容等の自己評価書様式」にて、自己評価を実施し、ホームページ上に公表した。 (https://www.omu.ac.jp/reha/about/self-inspection/)</p>		
<p>2) 研究科カリキュラムの再編</p> <p>2025年度にむけて、研究科科目の再編を行った。</p>		
<p>3) 2027年度のカリキュラム改訂にむけたWG</p> <p>理学療法学専攻2名、作業療法学専攻2名の計4名をWGチーム員とし、月1回の頻度で検討を進めている。チーム員に、全学の将来構想委員会のメンバーを入れ、リハビリテーション学科・リハビリテーション研究科として、本学の将来構想を踏まえ、他大学との差別化を目指している。</p>		

5. 年に1回以上、FD活動に参加した専任教員の人数〔実数〕（必ずご記入ください）

- ・年に1回以上、FD活動に参加した専任教員の人数 （24）人
- ・所属内の専任教員の人数 （24）人

6. その他、追記事項

1) 2024年度の内部質保証スタートアップ事業（ICTを活用した学外臨床実習時の学生・臨床実習指導者・教員のリアルタイム連携システムおよびポートフォリオの構築と学修成果）

理学療法学専攻と作業療法学専攻の代表教員3名にて、臨床実習システムを活用したポートフォリオの作成に関する会議を5回開催した。

2) 履修証明プログラム

大学院において履修証明プログラム「地域リハビリテーション学コース」を開講している。事務局2名、リハビリテーション学研究科教員4名の合計6名体制で実施している。受講生は、学部の卒業生をはじめ、他大学の教員、臨床の理学療法士・作業療法士である。2024年度には12期生を迎え、11期生までの総修了生人数は、348名である。

2024 年度 部局 FD 活動報告

看護学部・研究科

<p>1. 各部局の FD の検討・実施体制を書いてください。（必ずご記入ください）</p> <p>FD の検討・実施体制：看護学部 FD 委員会（5 名，委員長：細田泰子，副委員長：森本明子，白井みどり，南村二美代，井上奈々）</p>		
<p>2. 教育改善・教育評価・FD に関する講演会、セミナー、ワークショップ等の開催</p>		
開催日	内容（タイトル）	参加者数
2024 年 7 月 3 日	<p>第 1 回 FD カフェ（Education Cafe）</p> <p>テーマ「実習における発達障がい傾向にある学生への対応・支援」</p> <p>講師：奥野 裕子 准教授（精神看護学）</p>	63 名
2024 年 9 月 19 日	<p>第 2 回 FD カフェ（Education Cafe）</p> <p>テーマ「総合実習（基礎看護学分野）におけるルーブリックを用いた実習評価」</p> <p>講師：益 加代子 准教授（看護管理学）</p>	41 名
2024 年 12 月 16 日	<p>看護学部 FD 研修会</p> <p>テーマ「看護教育カリキュラムの動向と改善に向けた取り組み」</p> <p>講演 1「教学マネジメントに基づくコンピテンシー基盤型カリキュラムの取り組み」</p> <p>西村 礼子 教授（東京医療保健大学医療保健学部/大学院医療保健学研究科）</p> <p>講演 2「看護学生の学習を支援するシミュレーション教育の取り組み」</p> <p>野島 敬祐 准教授（京都橘大学看護学部/大学院看護学研究科）</p>	68 名
2025 年 1 月 22 日	<p>第 3 回 FD カフェ（Education Cafe）</p> <p>テーマ「3 学科合同感染症診療基本手技実習」</p> <p>講師：白井 みどり 教授（高齢者生活行動ケア科学）</p>	23 名
2025 年 3 月 5 日	<p>第 4 回 FD カフェ（Education Cafe）</p> <p>テーマ「シミュレーション教育」</p> <p>講師：井上 奈々 講師（急性看護学）</p>	未実施
<p>3. 教育改善・教育評価・FD に関する会議、委員会等の開催</p>		
会議・委員会名	内容・開催日 （複数回の場合は「第 1 回（*月*日）～について」 「第 2 回…」と記載）	委員の人数
FD 委員会	第 1 回（2024 年 4 月 18 日）2024 年度活動予定について	5 名

FD 委員会	第 2 回 (2024 年 5 月 24 日) 成績 GP 分布、GPT データの分析、FD 研修会・FD カフェの企画について	5 名
FD 委員会	第 3 回 (2024 年 6 月 10 日) FD 研修会・FD カフェの企画について	5 名
FD 委員会	第 4 回 (2024 年 6 月 29 日) 学生調査、FD 研修会・FD カフェの運営について	5 名
FD 委員会	第 5 回 (2024 年 10 月 15 日) 2023 年度の教学アセスメントにおける点検評価報告、学生調査、FD 研修会・FD カフェの運営について	5 名
FD 委員会	第 6 回 (2024 年 11 月 25 日) 2023 年度の教学アセスメントにおける点検評価報告、学生調査、FD 研修会・FD カフェの運営について	5 名
FD 委員会	第 7 回 (2025 年 1 月 8 日) 2023 年度の教学アセスメントにおける点検評価報告、FD 研修会の報告、FD カフェの運営について	5 名
FD 委員会	第 8 回 (2025 年 2 月 19 日) 2024 年度部局 FD 活動報告、卒業予定者アンケート、FD カフェの運営について	5 名
4. 上記以外の教育改善・FD に関する取組		
<p>看護学部では、教育改革委員会委員が調整し、教務委員会、学生委員会、FD 委員会、部局評価委員会が連携し、2023 年度の GP 分布/GPC データ、シラバス点検データ、卒業生・修了者の数や入学年度に関するデータ、履修指導の入力状況データ、前期・後期開講授業のていら・みすデータを分析し、教学アセスメントにおける年次点検評価を実施した。</p>		
5. 年に 1 回以上、FD 活動に参加した専任教員の人数 [実数] (必ずご記入ください)		
<ul style="list-style-type: none"> ・年に 1 回以上、FD 活動に参加した専任教員の人数 (64) 人 2025 年 2 月時点 ・所属内の専任教員の人数 (69) 人 		
6. その他、追記事項		

2024 年度 部局 FD 活動報告

生活科学部・研究科

<p>1. 各部局の FD の検討・実施体制を書いてください。（必ずご記入ください）</p> <p>研究科長、教育研究審議員、専攻長、全学共通教育教務委員、教育改革委員、大学院教務委員、学部教務委員、各学科会議</p>																	
<p>2. 教育改善・教育評価・FD に関する講演会、セミナー、ワークショップ等の開催</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>内容（タイトル）</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table>			開催日	内容（タイトル）	参加者数												
開催日	内容（タイトル）	参加者数															
<p>3. 教育改善・教育評価・FD に関する会議、委員会等の開催</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>会議・委員会名</th> <th>内容・開催日 （複数回の場合は「第 1 回（*月*日）～について」 「第 2 回…」と記載）</th> <th>委員の人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大学院教務委員会</td> <td>毎月第 2 水曜日</td> <td>14 名</td> </tr> <tr> <td>学部教務委員会</td> <td>毎月第 2 水曜日</td> <td>13 名</td> </tr> <tr> <td>学科会議（各学科）</td> <td>毎月第 4 水曜日</td> <td>全教員</td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table>			会議・委員会名	内容・開催日 （複数回の場合は「第 1 回（*月*日）～について」 「第 2 回…」と記載）	委員の人数	大学院教務委員会	毎月第 2 水曜日	14 名	学部教務委員会	毎月第 2 水曜日	13 名	学科会議（各学科）	毎月第 4 水曜日	全教員			
会議・委員会名	内容・開催日 （複数回の場合は「第 1 回（*月*日）～について」 「第 2 回…」と記載）	委員の人数															
大学院教務委員会	毎月第 2 水曜日	14 名															
学部教務委員会	毎月第 2 水曜日	13 名															
学科会議（各学科）	毎月第 4 水曜日	全教員															
<p>4. 上記以外の教育改善・FD に関する取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習進捗評価シートによる学習支援や教育改善 ・卒業研究および修士研究の達成評価シートによる質向上と、評価基準の共有 ・合同ゼミによる卒業研究の共同指導体制 ・卒業論文発表会、修士論文発表会、博士学位論文公聴会の実施 ・成績評価の基準、課題等について検討 ・GP 分布、および GPC データの共有、成績分布の点検、分析 ・シラバス点検に係るデータの共有、シラバス改善の検討 ・卒業者・修了者の数や入学年度に関するデータの確認、分析 ・学生調査データの共有、結果の確認、必要に応じて各教員の指導方針の改善の参考とする。 																	
<p>5. 年に 1 回以上、FD 活動に参加した専任教員の人数 [実数]（必ずご記入ください）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年に 1 回以上、FD 活動に参加した専任教員の人数 (56) 人 ・所属内の専任教員の人数 (56) 人 																	
<p>6. その他、追記事項</p>																	



2024 年度 部局 FD 活動報告

国際基幹教育機構

<p>1. 各部局の FD の検討・実施体制を書いてください。（必ずご記入ください）</p> <p>機構内教育改革委員会（副機構長、大学教育 G から 5 名、その他の教員 G から 3 名）を設置している。高等教育研究開発センターが主催する全学 FD 以外の機構内 FD は、教員所属 G 単位または科目委員会単位で検討・実施されている。機構内教育改革委員会は、FD 実施計画と実施状況のとりまとめを行っている。</p>		
<p>2. 教育改善・教育評価・FD に関する講演会、セミナー、ワークショップ等の開催</p>		
開催日	内容（タイトル）	参加者数
【人権 G】		
2024 年 9 月 11 日	人権問題研究センター「人権関連科目 FD 研修会」	7 人
2025 年 3 月 10 日	アクセシビリティセンター主催・高等教育研究開発センターおよび人権問題研究センター共催「発達・精神障害のある学生への合理的配慮」	142 人
【大学教育 G】		
12 月 24 日	初年次ゼミナール説明会	60 人
11 月 6 日	第 5 回大学教育研究セミナー「大阪公立大学学生の 1 年次の学修に関する調査結果報告」（高等教育研究開発センター主催）で、初年次ゼミナールに関するアンケート結果の報告を行った	64 人
【健康・スポーツ科学 G】		
＜杉本キャンパス＞		
2024 年 4 月 9 日(火) 11 時 45 分～	第 1 回 FD 研修会（健康・スポーツ科学実習担当教員（非常勤を含む）による FD 研修会および授業実施説明会）	8
2024 年 4 月 11 日(木) 11 時 45 分～	第 2 回 FD 研修会（健康・スポーツ科学実習担当教員（非常勤を含む）による FD 研修会および授業実施説明会）	10
2024 年 10 月 1 日(火) 12 時 00 分～	第 3 回 FD 研修会（健康・スポーツ科学実習担当教員（非常勤を含む）による FD 研修会および授業実施説明会）	9
2024 年 10 月 1 日(火) 16 時 00 分～	第 4 回 FD 研修会（健康・スポーツ科学実習担当教員（非常勤を含む）による FD 研修会および授業実施説明会）	9
2024 年 10 月 3 日(木) 12 時 00 分～	第 5 回 FD 研修会（健康・スポーツ科学実習担当教員（非常勤を含む）による FD 研修会および授業実施説明会）	9
2024 年 10 月 3 日(木) 16 時 00 分～	第 6 回 FD 研修会（健康・スポーツ科学実習担当教員（非常勤を含む）による FD 研修会および授業実施説明会）	10
＜なかもずキャンパス＞		
2024 年 4 月 5 日(金)	第 1 回 FD 研修会（健康・スポーツ科学実習担当教員によ	4

15時00分～	る実習授業の展開方法について)	
2024年5月15日(火) 17時00分～	第2回FD研修会(健康・スポーツ科学実習担当教員(非常勤を含む)による学外実習授業の展開について)	4
2024年5月24日(金) 10時30分～	第3回FD研修会(健康・スポーツ科学実習担当教員による学外実習授業展開の検討)	4
2024年6月7日(火) 9時00分～	第4回FD研修会(健康・スポーツ科学実習担当教員による学外実習授業展開の検討)	4
2024年9月10日(火) 16時00分～	第5回FD研修会(健康・スポーツ科学実習担当教員(非常勤を含む)による学外実習授業の展開について)	6
2024年10月15日 (火)15時00分～	第6回FD研修会(健康・スポーツ科学実習担当教員による学外実習授業の評価について)	4
2025年3月25日(火) 15時00分～17時30分	第7回FD研修会(健康・スポーツ科学実習担当教員(非常勤を含む)による実習授業展開および指導方法に関するスキルアップ研修)	10
【数学G】		
8月22日	数学FDミーティング	約40
3月1日	数学FDミーティング	約40
3. 教育改善・教育評価・FDに関する会議、委員会等の開催		
会議・委員会名	内容・開催日 (複数回の場合は「第1回(*月*日)～について」 「第2回…」と記載)	委員の人数
【人権G】		
副専攻担当者会議	前期、後期が始まる前に計画した教育方法・教育内容について、学生の理解や関心に合わせて改善するため、各回の授業後に検討会を行った。(計5回程度)	3人
副専攻運営会議	登録者の関心に合わせてどのようなプログラムを展開するべきか、前期、後期が始まる前に検討を行った。	3人
【大学教育G】		
大学院共通教育科目委員会	メール会議(11月13日～11月17日)で、教学アセスメントのための点検評価の一環として、GP分布/GPCデータの確認、シラバス点検、ていらいみすデータの確認と検討を行った。	4人
初年次教育科目委員会	9月27日と11月11日にZoom会議を行い、今年度のアンケート結果の確認の他、教学アセスメントのための点検評価(GP分布、シラバス点検、ていらいみすデータに基づく検討)を行った。	4人
【教職G】		
教職グループ会議	第1回(4月25日)「今年度のFD活動の計画」、第2回(10月29日)「カルテ面談のFD活動への活用法につ	3

	いて」	
【英語 G】		
英語科目委員会	毎月 1 回の英語授業改善のための意見交換「第 1 回（4 月 14 日）」「第 2 回（5 月 10 日）」「第 3 回（6 月 14 日）」「第 4 回（7 月 12 日）」「第 5 回（9 月 13 日）」「第 6 回（10 月 11 日）」「第 7 回（11 月 8 日）」「第 8 回（12 月 6 日）」「第 9 回（1 月 10 日）」「第 10 回（2 月 18 日）」	19 名
【初修外国語 G】		
ロシア語非常勤講師 ミーティング	新年度を迎えるにあたって、授業の進め方の確認や、注意事項の共有を行った。2024 年 4 月 2 日開催。	1 人
【初修外国語（特例科目）】		
特例科目委員会	第 1 回（5 月 27 日～7 月 5 日）：前期授業の受講者数、教材購入、今年度の FD 計画、特別履修生受入れ状況等について 第 2 回（10 月 3 日）：後期授業の受講者数、2025 年度以降の特別履修生受入れ方針と科目編成（開講キャンパス、時間割）等について 第 3 回（11 月 5 日）：教学アセスメントについて 第 4 回（2 月 20 日）：FD 報告について	2
教育推進課国際教育 担当との協議	9 月 26 日 2025 年度以降の特別履修生受入れ方針について 2 月 12 日 特別履修生の受入れ（2024 年度の総括と 2025 年度の方針）について	4
教育推進課基幹教育 担当との協議	10 月 8 日 森之宮キャンパス移転後の科目編成（開講キャンパス、時間割）について	3
非常勤講師との打ち 合わせ	7 月 15 日 2024 年度前期の授業の総括と 2025 年度の方針について 1 月 27 日 2024 年度後期の授業の総括と 2025 年度の方針について	2
【健康・スポーツ科学 G】		
健康・スポーツ科学 科目委員会	第 1 回（5 月 15 日）2023 年度後期 GP 分布・GPC データについて、その他 第 2 回（6 月 19 日）森之宮キャンパスで使用する商品確認にかかる施設課との協議について、その他 第 3 回（7 月 17 日）2025 年度前期時間割について、その他 第 4 回（9 月 27 日）森之宮キャンパスアリーナ等のスポーツ教育施設利用に関する小 WG 報告について、その他	10

	<p>第5回（10月16日）健康・スポーツ科学概論文学部クラス開講曜日時限について、その他</p> <p>第6回（11月20日）2025年度科目要覧について、その他</p> <p>第7回（12月18日）森之宮スポーツ教育施設のセキュリティ管理について、その他</p> <p>第8回（1月15日）森之宮スポーツ教育施設新設備品の仕様等について、その他</p> <p>第9回（2月19日）2024年度FD活動報告について、その他</p> <p>第10回（3月19日）健康・スポーツ科学科目の開講方針および評価方針についての検討、その他</p>	
教務担当教員会議	<p>第1回（6月12日）2025年度後期以降の健康・スポーツ科学実習時間割案について、その他</p> <p>第2回（6月17日）2023年度インクルーシブスポーツ実習試験開講にかかる評価について、その他</p> <p>第3回（8月6日）2025年度以降授業運営方法について、その他</p> <p>第4回（12月4日）森之宮移転備品（スポーツ教育施設）について、その他</p>	4 (第3回のみ5)
【数学G】		
数学科目委員会	第1回：授業関連の問題への対応等について・5/23	7
数学科目委員会	第2回：工学2年次科目の開講キャンパス問題対応・8/1	7
数学科目委員会	第3回：授業担当割り振りについて・10/29	7
【物理学G】		
物理学分野会議 (なかもず地区)	第1回（4月4日）、第2回（4月25日）、第3回（6月6日）、第4回（7月4日）、第5回（9月5日）、第6回（10月3日）、第7回（11月7日）、第8回（12月5日）、第9回（1月9日）、第10回（2月13日）、第11回（3月6日）、各回とも物理学講義科目に関する内容、物理学実験、非常勤講師の配置等について検討しました。	4
【化学G】		
化学グループミーティング	<p>「第1回（4月22日）ハラスメント相談員会議について」</p> <p>「第3回（6月24日）学生アンケートを教員評価に使うことができる件、教員免許には介護実習必須について」</p> <p>「第5回（9月30日）出席管理ツールの運用について」</p> <p>「第6回（10月21日）情報リテラシー・外国語・健康ス</p>	5

	<p>ポーツの必修選択について、翻訳 AI 25 年度導入について」</p> <p>「第 8 回（12 月 23 日）基礎化学実験新指導書について」</p> <p>「第 9 回（1 月 20 日）初年次ゼミと情報科目の変更案について」</p>	
【キャリアデザイン G】		
高度人材育成センター 一定例会議	<p>第 1 回(4 月 19 日)人材提供カリキュラム再編 WG について、他</p> <p>第 2 回(5 月 31 日)企業と大学院生の WEB 交流会 2024 報告、他</p> <p>第 3 回(6 月 28 日)リーディングプログラム関連報告、他</p> <p>第 4 回(7 月 19 日)第 3 期 顧客価値共創プログラム報告、他</p> <p>第 6 回(9 月 27 日)TEC ・ Fledge プログラム関連報告、他</p> <p>第 7 回(10 月 18 日)Fledge プログラム、海外派遣プログラム、他</p> <p>第 8 回(11 月 15 日) 2025 年度リーディングプログラム選抜試験、他</p> <p>第 9 回(12 月 20 日)カリキュラム再編、顧客価値共創プログラム、他</p> <p>第 10 回(1 月 24 日)高度人材育成推進センター規程改正、他</p> <p>第 11 回(2 月 28 日) 報告事項のみ</p>	25 人（職員を含む）
リーディング大学院 プログラム教員・メンター会議	<p>第 1 回(6 月 20 日) SiMS 3 ポリシー等の見直し開始について</p> <p>第 2 回(7 月 31 日) 育成すべき人物像について</p> <p>第 3 回(9 月 4 日) 同上 継続協議</p> <p>第 4 回(10 月 3 日) 人物像を反映させたディプロマポリシーについて</p> <p>第 5 回(12 月 19 日) 同上 継続協議</p> <p>第 6 回(1 月 23 日) ディプロマポリシーの文言 検討</p> <p>第 7 回(2 月 13 日) ディプロマポリシー成文化 完了</p> <p>第 8 回(3 月 27 日) ディプロマ要項-カリキュラム 対照表 検討</p>	5 人 (専任 2,特任 1, コーディネーター 2 名)
高度人材育成推進センター 提供科目再編 検討会議	<p>第 1 回（5 月 14 日）現カリキュラムの現状と検討すべき内容について</p> <p>第 2 回（6 月 21 日）新カリキュラムマップ、プログラム名称について</p> <p>第 3 回（7 月 31 日）科目名称案のアンケート調査結果につ</p>	4 人 (専任 2,特任 2 名)

	いて 第4回(11月26日~12月17日チャット会議)新科目名称 およびプログラム名称の決定について	
2024年度アドバイザー委員会	2023年度、2024年度前期プログラム実施概要と実績報告、質疑応答、意見交換、他 10月21日開催	23人(職員を含む)

4. 上記以外の教育改善・FDに関する取組

【人権 G】

- (1) 基幹教育の科目運営委員会にオブザーバー参加することとなった。
- (2) SI副専攻との交流を持った。

【大学教育 G】

<大学教育 G>

・大学教育 G メンバーは、高等教育研究開発センターの専任研究員として、多様な全学 FD の企画・運営を担当するとともに、他部局の部局 FD 等の支援を行った。(高等教育研究開発センターの FD 関連業務については、別途報告。)

<初年次教育科目委員会>

- ・OMU ラーニングセンターの協力を得て、「国際基幹教育機構開設科目要覧」に掲載する「先輩からのアドバイス」を最新情報に改訂した。
- ・教育推進課のポータルサイトに、初年次ゼミナール専用ページを設置し、各種情報を集約して、担当教員がアクセスしやすくした。担当教員の希望を受けて、ラーニングセンターが作成しているレポートの書き方等に関するセミナー用資料も掲載した。
- ・初年次ゼミナール担当教員と受講生へのアンケート調査を実施した。
- ・2023 年度に実施したアンケート結果を「大阪公立大学大学教育」第 3 巻に資料論文として掲載した。

<大学院共通教育科目委員会>

・旧市大では博士前後期(修士・博士)両課程が取得可能だった科目を、大阪公立大学移行時に、博士前期課程向け科目として開講し、博士後期課程の学生への科目情報の提供や多様な学生同士の学び合いの効果が高いため、希望があれば博士後期課程の学生の履修を認める形で運営してきていたが、課程ごとの開講科目の到達目標・評価等の明確化や、開講周知および履修登録の手続き上、前期課程と後期課程の科目を、それぞれ分けて開講することが望ましいため、前期課程向け科目と同時連携開講の後期課程向け科目として新設することとした。これによって今後、博士後期課程の学生に対して、履修可能な科目の周知が一層徹底され、履修登録手続きも簡便となるため、後期課程の学生の履修促進が見込まれる。

【人文社会科学 G】

FD 関連の情報をグループの教員会合等にて随時共有した。

また、FD セミナー等への積極的な参加や、ピア授業参観の実施について呼びかけを行った。

【教職 G】

教職課程履修者を対象に、「教職キャリアガイダンス」を試行実施。

【英語 G】

- ・各期末または年度末に英語カリキュラムの検証および評価の実施
- ・2024 年度全学共通教育英語科目に関する教員アンケート調査の実施（2024 年 8 月、2025 年 1 月実施）
- ・2024 年度全学共通教育英語科目に関する学生アンケート調査の実施（2024 年 8 月、2025 年 1 月実施）
- ・2024 年度末に、2025 年度に向けた UE B 科目担当非常勤教員を対象とした授業運営説明会の実施
- ・非常勤の先生方からの授業内容・運営に関する質問への継続的な対応
- ・上記 FD 活動の各キャンパスでの実施および調整

【初修外国語 G】

<朝鮮語>

定期的に朝鮮語教育に関する有益な情報を共有している。また教材の活用や「韓国語 WEB 教室」の活用方法、授業進度や評価方法等について、情報を共有すると共に意見交換を行った。

<中国語>

全担当者（非常勤講師を含む 41 名）をメンバーとする Teams のチームを作成し、中国語教育の改善に役立つ情報の配信を開始している。Teams の分析機能によると、2024 年 11 月 6 日から 2025 年 2 月 3 日までの 90 日間に「投稿 22、返信 2、リアクション 55、メンション 8」があった。今後も定期的に配信する予定である。

また、2025 年 3 月 17 に実施した初修外国語担当者講師会（Zoom によるオンライン形式）では、時間内にブレイクアウトルームにて中国語担当者間の意見交換を行い、本学の中国語教育に関する意見や質問等を募り、今後の FD 活動の参考とした。

<ロシア語>

- ・ 共同で受け持つ授業の運営にあたって、非常勤講師同士の円滑なコミュニケーションを促すために、連絡用のプラットフォームとして Google Classroom を活用し、教材や教育方法、などの授業に必要な情報の交換を行った。
- ・ Teams 内に初修ロシア語科目のページ（学生及び教員対象）を開設し、ロシア語やロシア文化イベントなどについての情報を投稿した。Teams の分析によると、90 日間（24.09.2024~22.12.2024）のデータは以下の通りです。アクティブユーザーの数 28、投稿 33、返信 71、リアクション 354、メンション 24。来年度も続く予定である。
- ・ 第 2 外国語としてのロシア語教育について、年中に MGU（モスクワ国立大学） Russian Language Center などのウェビナーに参加した。

<フランス語>

・非常勤講師を含む全担当者との連絡用にメーリングリストをすでに設置しており、そこから教育改善に関する情報の交換・共有を行った。

・トゥール大学大学院から FLE（外国語としてのフランス語教育）専攻の大学院生 2 名を受け入れ、フランス語基礎/会話およびフランス語特修の一部クラスで教育実習を行った。

・フランス語クラスで、学生アシスタント（SA）やフランスの交流協定校から受け入れた留学生（日本語学習者）の参加により、学生間交流と学びの活性化を図った。

・フランス語教育、その他の外国語教育に関する学会や研究会、シンポジウム、講演会への参加を通じ、教育法や学習者支援、授業改善等についての新しい知見を取り入れることを推進した。

・フリブール大学（スイス）よりアレッサンドラ・ケレル・ゲルベール准教授を招聘し、フランス語教育に関する研究会を行った。

<ドイツ語>

・授業担当者を対象にグーグルフォーム等を使って学期ごとに授業アンケートをとり、授業運営上の課題や問題を共有・分析した。

・非常勤講師も含めて、3/17にオンライン会議を開催した。それぞれのクラスやコースに適した教材や授業進度、シラバス記載内容などについての相互チェックと意見交換を行った。

・学期中、授業運営にあたって有益と思われる情報（留学情報含む）を授業担当者間で適宜共有した。

【初修外国語（特例科目）】

・2025年度後期の森之宮キャンパス移転後の科目の開講キャンパスと開講方法（遠隔授業の実施）について、関係教員へのヒアリングを行なった（10月31日、11月1日）

【健康・スポーツ科学 G】

・各教員が全学FD研究会などへ積極的に参加し、FDに対する意識づけを図った。

・多様な学生への対応を視野に入れ、健康・スポーツ科学実習において、学外での集中野外実習授業を設定し、その授業展開及び指導内容、指導方法について検討した。また、授業後に指導内容、教育評価について検討を行った。

・障がいの有無にかかわらず誰もが参加可能なインクルーシブスポーツ実習を2025年度より森之宮新キャンパスで開講することをめざし、授業内容の検討ならびに試験的開講を行った。

・健康・スポーツ科学科目委員会において、健康・スポーツ科学概論および実習の履修方法、授業内容、授業展開、成績評価方法などについて、2025年度前期までの両キャンパス開講期間の方針について検討した。また、2025年度後期の森之宮新キャンパス移転後の方針について検討を進めた。

・スポーツ教育施設の整備、機材の精選などを行い、さらなる授業の質的向上を目指し、学生満足度の高い効果的な授業展開を行うための検討を進めた。

・これまでに各キャンパスで実施してきたプロジェクト型研究の成果を各授業に適用することで、学生の好奇心の充実を図り、さらに魅力ある授業の展開を目指して活動した。

【数学 G】

数学相談室の運営

Moodle・STACK（オンライン数学テスト）のコンテンツ開発

授業担当者への個別相談・指導

【物理学 G】

なかもず地区では、森之宮地区移転に向けた物理学実験の準備、物理学実験教科書の編集、教務等について話し合いました。

2024年11月提出の「教学アセスメントリストにおける年次点検評価報告書(2023年度分)」を作成しました。その際、(1)2023年度GP分布/GPCデータ(2)シラバス点検に係るデータ(3)ていら・みすデータの確認・分析を行いました。

【生物学】

(1) SEL 教室において提供されている接続教育教材について各担当授業内にて紹介し、受講者に活用を促した。高等学校における教科内容（範囲、深度）について、担当教員間で共有した。

(2) 成績評価・到達度評価の方法と基準に関して、到達目標・授業科目の概要を共通とする同一科

目名のクラス間で、齟齬をきたさぬよう、開講前と成績評価時に打ち合わせと調整の機会をもった。

【地学 G】

理学研究科地球学専攻会議において基幹教育科目の GPC データの共有を行い、各担当者の教育改善に役立てた。担当教員は FD セミナーに積極的に参加している。杉本キャンパスでは実験用教材（篩）を購入し、中百舌鳥キャンパスでは SEL 室の動画教材を充実させた。森之宮キャンパス移転を見据えての物品の整理も進めている。

【キャリアデザイン G】

2024.11.15-16 大学院教育改革フォーラム 2024 に参加（現地参加 2 名、オンライン参加 1 名）

5. 年に 1 回以上、FD 活動に参加した専任教員の人数 [実数]（必ずご記入ください）

- ・年に 1 回以上、FD 活動に参加した専任教員の人数 （ 78 ）人
- ・所属内の専任教員の人数 （ 78 ）人

6. その他、追記事項

【人権 G】

「人権論」の教科書編纂企画は、ある出版社から提案されたものであったが、検討の上、当グループとしては取り組まないこととなった。

【英語 G】

・2024 年度末に、2025 年度に向けた UE A 科目担当非常勤教員を対象とした授業運営説明会の実施を予定していたが、実施しないことを決定した。

【数学 G】

非常勤講師説明会は、授業担当者説明会として非常勤以外も含む形で年度末に実施予定だったが、日程調整の結果、4 月 1 日に実施することとなったので次年度の活動となる。